

平成 2 8 年度

# 当初予算に関する資料

「これが私の故里だ 定住実現都市」



山 口 市



## 目 次

1 はじめに .....	1
2 予算の概要 .....	3
(1) 予算規模.....	3
(2) 歳入の概要（一般会計） .....	4
(3) 歳出の概要（一般会計） .....	5
3 平成28年度のまちづくりの概要 .....	6
■三つの創生.....	6
(1) やまぐち魅力 創生（YAMA-good!-CHI） .....	6
(2) 人材・雇用 創生.....	12
(3) 都市・生活空間 創生（■未来活気「二つの創造」） .....	15
■市民生活「四つの安心」 .....	23
■市民満足度を高める行政マネジメントの強化 .....	34
4 新年度の市民のくらし .....	37
施策別主要事業 .....	39
資 料	
(1) 一般会計歳入（款別） .....	94
(2) 一般会計歳出（目的別） .....	95
(3) 一般会計歳出（性質別） .....	96
(4) 一般会計歳入歳出構成図 .....	97
(5) 一般会計当初予算の推移.....	98
(6) 財政関係指標（普通会計等） .....	99
(7) 財政健全化法関係指標 .....	100
(8) 財政運営健全化への取組み.....	100
(9) 地方債の状況 .....	101
(10) 基金の状況（一般会計） .....	102
(11) 引上げ分に係る地方消費税収が充てられる社会保障経費 .....	103
(12) 中期財政計画・計画期間後の財政見通し .....	104
(13) 特別会計予算.....	106
(14) 企業会計予算.....	107
(15) 合併特例事業債充当事業一覧.....	108
(16) 過疎対策事業債充当事業一覧.....	110
(17) 過疎地域自立促進特別事業（過疎ソフト）充当事業一覧.....	111
(18) 国補正（第1号）：地方創生加速化交付金充当事業一覧 .....	112

※資料の所管課につきましては、平成28年度の新所属名で表記しています。  
ただし、施策別主要事業（44ページ）につきましては、旧所管課で記載しておりますので事業内容の  
お問い合わせにつきましては、施策別主要事業を参考の上、旧所属へお問い合わせください。

# 1 はじめに

現在、本市においては、山口市総合計画のもとで、未来活気「二つの創造」としての「広域県央中核都市づくり」と「協働によるまちづくり」、雇用・産業振興、子育て・教育、防災、健康長寿など、市民の皆様の暮らしにおける安心を実現する市民生活「四つの安心」、の取組による定住実現都市づくりを進めています。同時に、昨年10月に策定した「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、定住促進と少子化対策という、最重要課題への重点的な取組として「やまぐち地方創生100プロジェクト」を展開しています。

こうした中、平成27年国勢調査速報値において、本市は人口増加に転じたものの、県全体としては平成22年の前回調査比で約4万6千人減少という厳しい結果となりました。こうした人口減少時代にあっても、高次な都市サービスの集積が可能な一定の圏域人口を維持していくことができる都市圏を、県中部エリアで形成していくために、本市は、県都として、山口都市核、小郡都市核の両都市核づくりを柱とした広域県央中核都市づくりを進め、本県における定住の受け皿づくりを加速していく必要があります。

そこで、新年度においては、総合計画のもとでの各分野におけるまちづくりと、「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「やまぐち地方創生100プロジェクト」のもとに、平成28年度予算を「これが私の故里だ 定住実現都市」と位置付け、本市の個性を際立たせ、定住や交流・対流を創出していく「三つの創生」を重点的に推進し、「山口に住んでみたい、住み続けたい」と、市内外の多くの方が共感していただけるまちづくりを進めます。

三つの創生の、第一の創生では、教育・アート・観光・スポーツ等の分野で、本市の個性を際立たせ、まちへの共感や誇りとしてのシビックプライドを育む「やまぐち魅力創生(YAMA-good!-CHI)」を展開します。第二には、本市の未来を担う多彩な人材・才能と、多様な働き場を大切に育むため、多彩な才能を有する人材の積極的な誘致と、地域雇用創出の取組を強化する「人材・雇用創生」に取り組みます。第三には、定住と交流を促進する高次都市機能の集積、日常生活機能の確立と都市と農山漁村が共生する、「広域県央中核都市づくり」と「協働によるまちづくり」による「都市・生活空間創生」を進めてまいります。

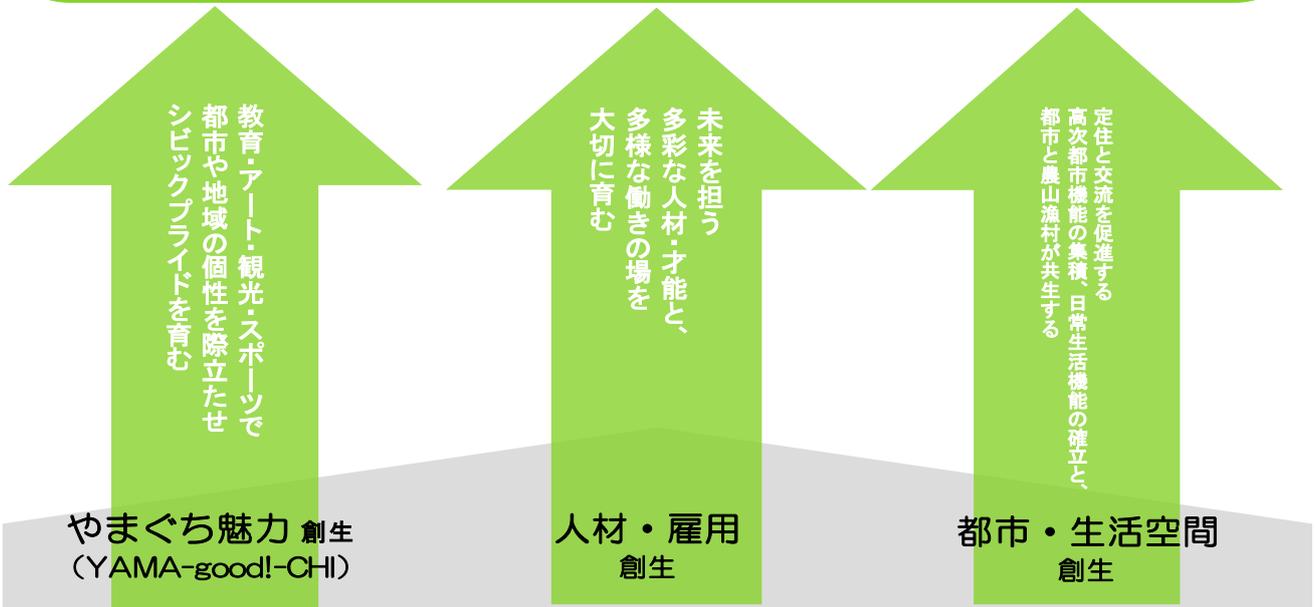
同時に、消費喚起、地域雇用の創出、少子化対策、総合浸水対策、健康都市づくりをはじめとした市民の皆様の暮らしにおける安心を実現する取組、すなわち、市民生活「四つの安心」の取組を展開します。また、次期総合計画や立地適正化計画策定への取組、連携中枢都市としての広域連携の確立、本庁舎の整備の検討など、次なる10年に向けた挑戦と計画的な市政運営の歩みを進めます。さらに、将来に渡る健全な財政運営を目指し、給与水準の適正化としての一般職の給与カット、徹底した内部管理経費の節約、市税の徴収率向上などの引き続きの取組により、平成22年度当初予算から7年連続で、財源不足を補うための基金(財政調整基金)を取り崩さない、歳入規模を基本とした予算としました。

以上のような考え方のもとで、定住実現都市を目指し、地方創生の取組をダイナミックに進めることが可能となるような、平成28年度の予算編成としました。



山口市長 渡辺純忠

# 「これが私の故里だ 定住実現都市」 予算



## 三つの創生

「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」やまぐち地方創生100プロジェクトの推進  
山口市総合計画（第9次実行計画 H28-H30）の推進

### 未来活気「二つの創造」

高次都市機能が集積する  
「広域県央中核都市づくり」

日常生活圏を形成する  
「協働によるまちづくり」

### 市民生活「四つの安心」

安心して 働ける 産業力の豊かなまちづくり

地域雇用創出

安心して 子育てや教育ができるまちづくり

少子化対策

安心して 安全に暮らせるまちづくり

総合浸水対策

安心して 歳を重ねられる健康長寿のまちづくり

健康都市づくり

市民満足度を高める行政マネジメントの強化

## 2 予算の概要

### (1) 予算規模

#### 「これが私の故里だ 定住実現都市」予算

(一般会計)

平成28年度当初予算 824億0,000万円  
(対前年度比3.0%の減)

・将来のまちづくりの投資(投資的経費)は、約156億3千万円を確保。

平成27年度3月補正予算 8億6,860万円

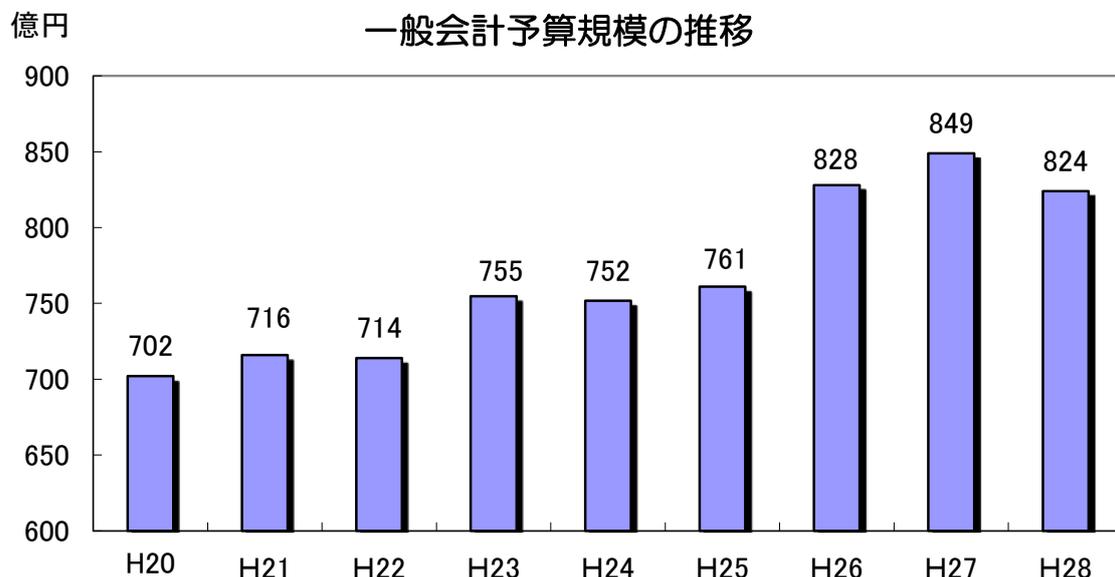
・地方創生加速化交付金等の国補正予算に対応した補正予算を編成、当初予算と一体的に13ヶ月予算を編成。

#### 予算規模の対前年度比較

(単位:千円)

会計別	平成28年度 A	平成27年度 B	増減 (A-B) C	伸率 C/B %
一般会計	82,400,000	84,930,000	▲2,530,000	▲3.0
特別会計	45,889,908	44,682,988	1,206,920	2.7
合計	128,289,908	129,612,988	▲1,323,080	▲1.0

#### 一般会計予算規模の推移



(注)平成21年度までは、山口市と旧阿東町の合計額(団体間の重複を除いたもの)

(2) 歳入の概要（一般会計）

**市 税** 約255億3千万円 (対前年度比 ▲約3億2千万円 ▲1.2%)

個人市民税は雇用環境や雇用者報酬の改善により、約1億2千万円の増収を見込んでいます。一方で法人市民税は税制改正による税率引下げの影響などにより、約5億2千万円の減収を見込んでおり、市税全体では約3億2千万円の減額を見込んでいます。

**地方消費税交付金** 約31億9千万円 (対前年度比 +約1億9千万円 +6.5%)

地方財政計画に基づき、増額を見込んでいます。

**地方交付税** 168億2千万円 (対前年度比 +7億5千万円 +4.7%)

普通交付税は市税の減収や交付税措置のある公債費の増加などにより、7億6千万円の増額を見込んでいます。特別交付税は地方財政計画に基づき、1千万円の減額を見込んでいます。

**国庫支出金** 約116億7千万円 (対前年度比 ▲約4億円 ▲3.3%)

新山口駅ターミナルパーク整備事業など大型建設事業の進捗状況や、平成25年7月の豪雨災害に係る補助分の災害復旧事業の完了などにより減額を見込んでいます。

**繰入金** 約12億6千万円 (対前年度比 ▲約8千万円 ▲6.1%)

平成22年度以降、財源不足を補うための財政調整基金からの繰入れは行っていません。減債基金や地域振興基金、こども基金などの特定の目的のために積み立てている基金は、その目的に資する事業に繰入れを行っています。

**市 債** 約119億6千万円 (対前年度比 ▲約31億5千万円 ▲20.8%)

新山口駅ターミナルパーク整備事業や地域交流センターなどの大型建設事業の進捗状況と、地方財政計画に基づく臨時財政対策債の減により、市債は減額を見込んでいます。

(単位:千円、%)

区分	平成28年度		平成27年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	伸率
市税	25,527,454	31.0	25,842,786	30.4	▲315,332	▲1.2
地方消費税交付金	3,186,000	3.9	2,992,000	3.5	194,000	6.5
地方交付税	16,820,000	20.4	16,070,000	18.9	750,000	4.7
国庫支出金	11,666,046	14.2	12,062,769	14.2	▲396,723	▲3.3
繰入金	1,260,888	1.5	1,342,136	1.6	▲81,248	▲6.1
市債	11,959,300	14.5	15,104,400	17.8	▲3,145,100	▲20.8
うち合併特例事業債	5,252,200	6.4	6,955,200	8.2	▲1,703,000	▲24.5
うち過疎対策事業債	535,700	0.7	439,400	0.5	96,300	21.9
うち臨時財政対策債	2,790,000	3.4	2,910,000	3.4	▲120,000	▲4.1
その他(→詳細はP94)	11,980,312	14.5	11,515,909	13.6	464,403	4.0
歳入合計	82,400,000	100.0	84,930,000	100.0	▲2,530,000	▲3.0

### (3) 歳出の概要（一般会計）

**人件費** 約134億円 (対前年度比 ▲1億5千万円 ▲1.1%)

退職者数の減により退職手当が減額となっているため、人件費は減額を見込んでいます。

**扶助費** 約164億1千万円 (対前年度比 +約7億9千万円 +5.0%)

私立保育園や地域型保育の新增設に係る運営費などの子ども・子育て支援制度に関する経費や障害児施設サービス給付費の増加などにより、扶助費は増額を見込んでいます。

**公債費** 約94億1千万円 (対前年度比 +約8千万円 +0.9%)

大型事業に活用した合併特例事業債や過疎対策事業債などの償還額の増加と、臨時財政対策債の償還額の増加により、公債費は増額を見込んでいます。

**投資的経費** 約156億3千万円 (対前年度比 ▲約29億7千万円 ▲16.0%)

新山口駅ターミナルパークの整備や地域交流センターなどの大型事業の進捗により、普通建設事業は減額を見込んでいます。また、災害復旧事業は平成25年7月の豪雨災害に係る補助事業の完了により減額を見込んでいます。引き続き、大内文化ゾーンの歴史空間の再生や地域交流センターの整備など都市やコミュニティの基盤整備に取り組むほか、総合浸水対策などの防災・減災事業にも積極的に取り組むこととしています。

**補助費等** 約71億9千万円 (対前年度比 +約3億3千万円 +4.8%)

高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業やプレミアム商品券発行助成事業の実施などにより、補助費等は増額を見込んでいます。

(単位:千円、%)

区分	平成28年度		平成27年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	伸率
人件費	13,404,357	16.3	13,558,385	16.0	▲154,028	▲1.1
うち給与	9,403,330	11.4	9,346,813	11.0	56,517	0.6
うち退職手当	640,084	0.8	770,000	0.9	▲129,916	▲16.9
扶助費	16,411,663	19.9	15,623,656	18.4	788,007	5.0
公債費	9,409,560	11.4	9,326,791	11.0	82,769	0.9
投資的経費	15,627,590	19.0	18,599,389	21.9	▲2,971,799	▲16.0
普通建設事業	15,416,946	18.7	17,876,310	21.0	▲2,459,364	▲13.8
災害復旧事業	210,644	0.3	723,079	0.9	▲512,435	▲70.9
補助費等	7,194,334	8.7	6,867,023	8.0	327,311	4.8
その他(→詳細はP96)	20,352,496	24.7	20,954,756	24.7	▲602,260	▲2.9
歳出合計	82,400,000	100.0	84,930,000	100.0	▲2,530,000	▲3.0

### 3 平成28年度予算のまちづくりの概要

#### ■ 三つの創生

1 教育・アート・観光・スポーツで都市や地域の個性を際立たせシビックプライドを育む

## 「やまぐち魅力 創生（YAMA-good!-CHI）」

市内外の多くの方々が本市の魅力や誇りに共感し、交流創出や定住促進につながるように、教育・アート・観光・スポーツ等の各分野において、本市全体や各地域の個性を際立たせ、若者層やファミリー層をはじめとした幅広い世代で山口のファン（YAMA-good!-CHI）を増やし、域外から資本等を呼び込む取組を展開します。



### （1）教育なら山口

事業名等	事業費
<b>充</b> <b>子ども芸術体感事業</b> 【学校教育課】 小中学校の体育館等を会場に演劇や音楽公演を実施するなど、子どもたちの感性を育む取組を進めます。新たに、山口情報芸術センターと連携し、小中学校で体験型ワークショップを実施します。	8,705 千円
<b>充</b> <b>情報教育環境整備事業</b> 【学校教育課】 ICT機器の導入、情報教育専門員・支援員の配置など、小中学校のICT教育の環境づくりを進めていきます。平成28年度は、中学校の学科教員等に教員用タブレット端末を配布します。また、大型ディスプレイ等の周辺機器の整備、情報支援補助員の配置など、ICT教育を効果的に展開するための環境を構築します。	207,702 千円
<b>充</b> <b>学習支援事業</b> 【学校教育課】 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな授業を行うため、本市が独自に配置する補助教員について、特別支援教育補助教員や観察実験アシスタントなどを22名増員し、合計136名の補助教員を配置することにより、本市の児童生徒の確かな学力向上を図ります。	147,009 千円
<b>充</b> <b>コミュニティスクール推進事業</b> 【学校教育課】 <b>充</b> <b>地域ぐるみ子育て支援推進事業</b> 【社会教育課】 本市のコミュニティスクール設置率は、100%と全国トップ水準にある中で、さらなるコミュニティスクールの取組推進に向けて、新たに「地域連携推進室」を設置します。各小中学校の学校運営協議会の支援やコーディネートをする支援専門員（コンダクター）の配置、各学校運営協議会の運営補助、小中学校連携事業などを実施します。また、地域が有する人材や教育力を発掘、活用する地域ぐるみの子育てを展開するため、現在、21地域に1名ずつ配置している地域協育ネットのコーディネーターの増員など、各地域におけるコーディネート力の強化を図ります。やまぐち路傍塾、県基準の社会教育主事の派遣に加え、市費負担での社会教育主事の配置などを実施します。	6,758 千円 24,364 千円
<b>図書館資料整備事業</b> 【中央図書館】	53,432 千円
<b>図書館活用推進事業</b> 【中央図書館】	2,966 千円
<b>充</b> <b>学校図書館整備推進事業（小学校・中学校）</b> 【学校教育課】	51,276 千円

「日本一 本を読むまち」を目指して、計画的に図書資料を整備します（蔵書冊数を、平成 26 年度末の 66 万冊から平成 29 年度末には 70 万冊へ）。また、市民の図書館利用を促進するためのイベント実施や、議会・行政の図書館利用促進に向けた仕組みづくりを進めます。さらに、小中学校の学校図書館や読書環境の充実を進める中で、新たに全市統一の読書ノートを作成・配布します。

**イングリッシュキャンプ開催事業**【社会教育課】

2,000 千円

**英語指導助手配置事業（小学校・中学校）**【学校教育課】

40,394 千円

子どもたちの国際理解のきっかけづくりとして、A L T（外国語指導助手）や市内大学等と連携しながら小学 5～6 年生、中学生を対象に、英語環境の中での体験活動の場を提供し、実践的な国際コミュニケーションを体験できる事業を展開します。また、引き続き市内の全小中学校等に 10 名の A L T（外国語指導助手）を配置します。



山口情報芸術センターと連携した、小中学校での体験型ワークショップのイメージ



タブレット端末を活用した授業

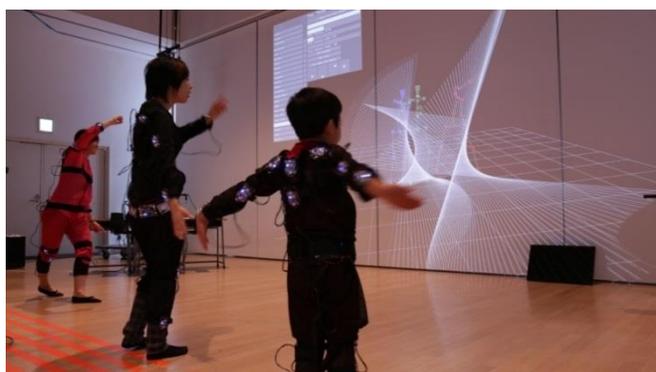


イングリッシュキャンプ

表中、新規事業は(新)、拡充事業は(充)、平成 27 年度 3 月補正分（地方創生加速化交付金）は(補正)と表記。

## (2) アートによる創造都市

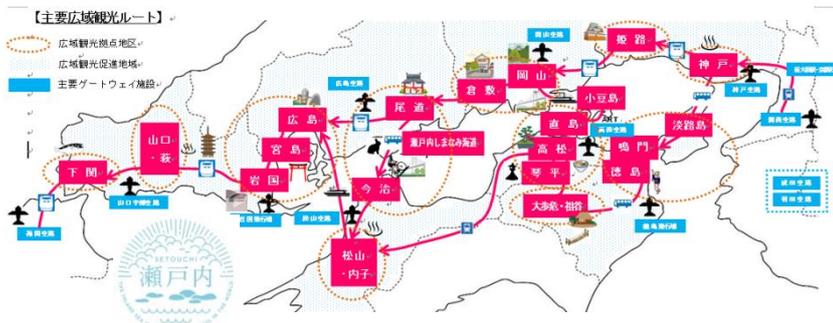
事業名等	事業費
<b>新</b> <b>交流資源共創事業</b> 【 <b>創生推進課</b> 】 市内外のアーティスト、産業分野の関係者との共創と連携のもとで、地域資源を活用した回遊や交流の促進、人材育成、地域経済の資金循環に取り組みます。とりわけ「アート」「食」「観光」等の分野において、人材ネットワークを形成できる場の設置、学びの場づくり、事業化支援等のモデル事業を、国土交通省との施策連携を図りながら進めていきます。	30,000 千円
<b>充</b> <b>山口情報芸術センター企画運営事業</b> 【 <b>文化交流課</b> 】 子どもたちが創造するメディア公園「コロガルガーデン in 山口」やアートグループ展などの展示、市民参加型のカフェ兼コミュニティスペース「YAMA KITCHEN」における「食」をテーマとしたワークショップや意見交換会、そしてバイオテクノロジーを活用したレクチャーなど、市民・アーティスト・研究者等が YCAM の持つ技術やネットワークなどを通じてつながりあう事業を展開します。また、オリジナルワークショップの開催など、子どもたちへの教育普及活動の更なる強化を図るとともに、YCAM と地域が連携した事業を展開することで、新たな交流の創出にもつなげます。	250,862 千円 (うち国補助金 44,000 千円)
<b>充</b> <b>中原中也記念館資料整備事業</b> 【 <b>文化交流課</b> 】 記念館の 1 万 5 千点を超える貴重な資料を後世に伝え、広く周知するために、資料の修復・保存、データベース化（公開型）に取り組みます。平成 28 年度は、データベースの整備、資料の修復・保存を実施します。	20,000 千円
<b>新</b> <b>アートトリップ推進事業</b> 【 <b>観光交流課</b> 】 <b>補正</b> 3,000 千円 本市のアート等の分野において、広域的な求心力や魅力を有している地域資源について、積極的な情報発信や受入体制の整備等を実施し、交流人口の創出につなげます。	計 3,000 千円
<b>充</b> <b>子ども芸術体感事業</b> 【 <b>学校教育課</b> 】 <再掲>	8,705 千円
<b>芸術家育成支援事業</b> 【 <b>文化交流課</b> 】 やまぐち新進アーティスト大賞（愛称・田口克己賞）の選定や展覧会開催等を通じ、将来、一層の活躍が期待される芸術家の創作活動を支援します。	1,814 千円



第 8 回やまぐち新進アーティスト大賞 山口功（彫刻・絵画）

### (3) 観光地域づくりの推進

事業名等		事業費
新	<b>山口観光維新DMO推進事業</b> 【観光交流課】 補正 8,500 千円 観光、アート、スポーツ、農林水産業など多様な関係者や市民等が連携を図りながら、本市における観光地域づくりを進めるため、観光需要調査、体制整備の検討、観光コンテンツ創出に向けた調査業務等を実施します。	計 8,500 千円
充	<b>インバウンド観光誘客推進事業</b> 【観光交流課】 補正 33,200 千円 山口県・宇部市・美祿市をはじめとした広域的な連携のもとで、訪日外国人旅行者の増加に向けた誘客プロモーション及び受入体制の整備を実施します。山口宇部空港への国際定期便就航への対応、山口の地酒をテーマにした海外への誘客情報発信、受入体制整備、Web 動画等の制作配信、市内大学（留学生等）と連携した情報発信等を展開します。また、山口七夕ちょうちんまつりや日本のクリスマスは山口からの取組充実を検討します。	計 34,430 千円
新	<b>DESTINATION キャンペーン誘客推進事業</b> 【観光交流課】 補正 4,300 千円 平成 29 年（2017 年）に、山口県を対象とした大型観光キャンペーンである DESTINATION キャンペーン（DC）が実施されます。あわせて、JR 西日本が、SL「やまぐち号」に D51 や SL 全盛期の客車を復刻した新型車両を投入され、一部停車駅を昭和レトロ調に改修されます。こうした取組に合わせ、平成 28 年度を BLEDC として捉え、SL 昭和レトロの旅を演出する衣装等の制作やおもてなし環境の推進等、また、SL を生かした本市への宿泊者増につながる取組や積極的なプロモーション活動等を実施します。	計 11,038 千円
	<b>明治維新 150 年記念事業</b> 【観光交流課】 補正 3,000 千円 平成 30 年（2018 年）の明治維新 150 年に向けて、明治維新関連史跡を生かした回遊促進イベント等の実施や萩往還のサイン整備、実行委員会への助成とともに観光客の受入体制の整備、錦の御旗製作所跡地の整備等を実施します。	計 32,759 千円
充	<b>湯田温泉魅力創造事業</b> 【観光交流課】 補正 5,000 千円 県内の宿泊拠点としての湯田温泉の魅力をもっと高めるため、湯田温泉旅館協同組合が取り組む大都市圏への観光キャンペーン、2 次交通対策、公衆無線 LAN の整備、インバウンド受入環境の整備等への支援や、湯田温泉酒まつりへの支援、また「狐の足あと」での各種企画展の開催などを実施します。	計 8,550 千円
充	<b>フィルムコミッション推進事業</b> 【観光交流課】 補正 1,000 千円 山口市フィルムコミッションによる情報収集、ロケ等の誘致活動を展開します。平成 28 年度は情報発信を強化します。	計 2,715 千円
	<b>明治維新版山口ものがたり創出事業</b> 【文化交流課】 平成 27 年 3 月の「山口市幕末維新史跡ガイドブック」作成に続き、平成 28 年度はガイドブックの第 2 弾を作成し、市内内外への情報発信や、明治維新 150 年に向けた様々な取組における利活用につなげます。	計 1,500 千円
新	<b>やまぐち瀬戸内魅力創出事業</b> 【定住促進課】 補正 5,000 千円 瀬戸内海、田園、里山などの市南部エリアの自然環境を生かしたツーリズムを、近隣都市と連携しながら展開し、市内外から南部エリアへの来訪者を増加させていきます。平成 28 年度は、ニューツーリズムの形成としてアウトドアフィットネスの拠点構築と事業推進、ツールド山口湾やノルディックウォーキングの継続と関連するコース整備の検討、瀬戸内地域資源の利活用の取組に対する支援などを行います。	計 10,000 千円
新	<b>アートトリップ推進事業</b> 【観光交流課】 補正 3,000 千円 <再掲>	計 3,000 千円



## (4) 我がまちスポーツの推進

事業名等	事業費
<p><b>充</b> <b>我がまちスポーツ推進事業</b>【<b>新</b>スポーツ交流課】</p> <p>本市で培われてきたスポーツ財産を、本市の地域づくりや魅力形成につなげていきます。市出身等のトップアスリートの招聘や教室開催、スポーツボランティアの育成等を支援します。また、J2に昇格した「レノファ山口FC」と連携して、「山口市」の冠試合の開催など本市の認知度向上を通じた応援事業、子供向けサッカー教室等を実施します。さらに、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック出場国のキャンプ地誘致等の取組を展開します。</p> <p>自転車等を活用した交流人口拡大事業、全国規模のスポーツ大会の誘致支援など、スポーツコンベンションの取組を本格化します。</p>	23,500 千円
<p><b>充</b> <b>レノファ山口FC おもてなし環境の整備</b>【生活安全課】</p> <p>レノファ山口FCに関連するおもてなし環境の向上に向けて、平成28年度は、レノファ山口FCのホームスタジアムである維新百年記念公園陸上競技場の最寄駅「JR大歳駅」の駐輪場をレノファカラーに整備します（放置自転車対策事業として実施）。</p>	20,000 千円
<p><b>新</b> <b>スポーツツーリズム推進事業</b>【<b>新</b>観光交流課】 <b>補正</b> 1,000 千円</p> <p>「我がまちスポーツ推進事業」などと連携し、レノファ山口FC、スポーツイベント、サイクリングやトレッキングなど、様々なスポーツを通じた本市への誘客や交流人口の拡大を図ります。とりわけ、湯田温泉をはじめとした市内宿泊者の増加につながるよう、ターゲットを絞った効果的な情報発信を実施します。</p>	計 2,600 千円
<p><b>新</b> <b>スポーツの森整備事業</b>【<b>新</b>スポーツ交流課】</p> <p>全国高等学校野球選手権山口大会が開催される「西京スタジアム」のスコアボードの改修設計を実施し、施設命名権（ネーミングライツ）を含む広告収入確保等について検討します。</p>	3,500 千円
<p><b>やまぐちサッカー交流広場整備事業</b>【<b>新</b>スポーツ交流課】</p> <p>旧引谷小学校（徳地）の屋内運動場を、フットサル等の屋内スポーツの場として整備し、スポーツ需要の受け皿づくりを進め、都市と農山村の交流を促進します。平成28年度は、屋内運動場に隣接する校舍解体工事、グラウンド整備等を完了します。</p>	80,000 千円
<p><b>充</b> <b>全国高等学校総合体育大会開催推進事業</b>【<b>新</b>スポーツ交流課】</p> <p>全国高等学校総合体育大会バレーボール競技を本市で開催するための、準備運営経費を実行委員会に対して支援します。</p>	10,000 千円
<p><b>スポーツ振興事務</b>【<b>新</b>スポーツ交流課】</p> <p>スポーツを通して市民一人ひとりの心身の健全な発達と、まちの活力創造を図ります。武道館の整備に向けた調査・研究を継続します。</p>	6,273 千円



レノファ山口FCと連携した地域活性化の取組



自転車を活用した交流人口の拡大



## 2 未来を担う多彩な人材・才能と、多様な働き場を大切に育む

# 「人材・雇用 創生」

各地域、各分野における人材や才能を本市に誘致する「人材誘致」の取組を進めます。同時に、企業誘致をはじめとした各産業分野における地域雇用創出を強化し、山口に新たなひとの流れ、しごとを創ります。

### (1) オール山口での人材誘致

事業名等	事業費
<p><b>充</b> <b>外部人材活用事業</b>【定住促進課】</p> <p>地域に根ざした人材誘致の取組を進めます。なかでも、都市部から若者が一定期間地域に定住し、地域ブランドや特産品開発などの地域づくりを担いながら活動する「地域おこし協力隊」のさらなる受入拡大を進めます。平成28年度は、現在の8名の受入を倍増し、12名増の計20名を受け入れます。また、活動内容も、観光、スポーツ、農林業など多様な分野で募集し、多彩な若者を招致します。</p> 	80,000 千円
<p><b>充</b> <b>やまぐち定住実現プロモーション事業</b>【定住促進課】</p> <p>多岐にわたる移住・定住に関する情報（住まい、しごと、地域情報等）をワンストップ化し、山口の魅力発信や、移住希望者の相談にきめ細やかに対応します。平成28年度は、専任の移住コーディネーターの配置、ホームページやガイドブックの作成、都市圏での移住フェア参加や移住セミナー開催、お試し暮らしツアーの開催などを実施します。</p> 	6,000 千円
<p><b>新</b> <b>若年UJIターン就職促進事業</b>【ふるさと産業振興課】</p> <p>市内の中小企業が県外で開催される合同企業説明会等に参加する場合の経費の一部について支援すると同時に、説明会を通じてUJIターン希望者が企業訪問する費用や就職の際の転居費用の一部について補助します。</p>	7,800 千円
<p><b>新</b> <b>UJIターン就労支援事業</b>【定住促進課】</p> <p>過疎地域の商業・サービス業等の事業者の廃業により、地域の生活機能が低下しないように、事業者とUJIターン希望者のマッチングや事業承継を進めます。しごと体験ツアーの実施、お試し就労に対する事業者への補助、事業承継や起業等に至った場合の家賃補助などを実施します。</p> 	3,170 千円
<p><b>新</b> <b>おいでませ農の担い手確保事業</b>【農林政策課】</p> <p>農業に興味、関心のある若者を対象に、市内の法人における短期就農体験メニューを体験していただき、本市の就農情報を継続的に発信することにより、就農促進につなげます。</p>	800 千円
<p><b>新</b> <b>学生消防団員を募集します</b>【警防課】</p> <p>山口大学をはじめ市内大学との連携のもとで、学生消防団員を募集し、地域消防力の向上につなげます。同時に、活動を通じた地域人材や事業所との交流、消防団活動認証証明書の交付、認証を受けた学生を雇用した市内企業に対する雇用奨励金制度の創設などを通じて、学生の就職支援を行うとともに、本市への定着支援につなげます。</p> 	2,238 千円

<p><b>充</b> <b>空き家利活用事業</b>【<b>定住促進課</b>】</p> <p>人口減少が進む地域を中心に、定住促進と空き家の利活用を図ります。現在、徳地・阿東地域で実施している空き家バンク制度について、連携・運営体制が整った他地域に順次拡大し、地域型空き家バンク制度として定住サポーターの活動経費等を支援します。また、空き家バンク制度に基づく改修補助について、平成 28 年度からは、従来の水周りに加えて、屋根や床等の改修も対象とします。さらに、家財等処分費用の補助についても、空き家バンクへの登録時点で対象とすることで、空き家バンク物件の成約率を向上させます。</p>	<p>9,874 千円</p>
<p><b>充</b> <b>大学連携推進事業</b>【<b>創生推進課</b>】 <b>補正</b> 10,000 千円</p> <p>地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC + : シーオーシープラス（Center of Community Plus））と連携した人材還流や人的資本創出プログラムを展開します。</p>	<p>計 15,000 千円</p>
<p><b>新</b> <b>地方創生戦略推進事業</b>【<b>創生推進課</b>】 <b>補正</b> 55,000 千円 &lt;再掲&gt;</p> <p><b>新</b> <b>情報産業人材育成強化事業</b>【<b>創生推進課</b>】 <b>補正</b> 10,000 千円</p> <p>プロフェッショナル人材の誘致や新規卒者の定着、クラウドソーシング企業や教育機関等と連携した I T 人材育成やしごと創出の実証モデル事業の展開、県や教育機関と連携した食をテーマにしたサービス人材育成の取組などを進めます。</p> <p>また、プログラミング教育の重要性に関して国際的な認識が高まる中、本市において、IT に対する興味を育み、IT を活用して多様化する課題に創造的に取り組む力を育成する取組を展開します。市内の関係者の協力のもと、ワークショップや講座を開催します。</p>	<p>計 70,000 千円</p> <p>計 10,000 千円</p>
<p><b>職員採用業務</b>【<b>職員課</b>】</p> <p>市職員採用試験について、受験機会の拡大、市内外への情報発信の充実を目的として、日程や試験科目の見直し等にも取り組みます。平成 28 年度は土木・建築職について、新たに東京でも採用試験を実施します。</p>	<p>3,903 千円</p>



東京での U J I ターン就職説明会の様子（山口県 H P）

## (2) 地域雇用の創出

事業名等	事業費
<p><b>充 企業誘致の新たな受け皿づくりを進めます</b>【産業立地推進室】</p> <p>平成 27 年度中に策定する企業誘致の基本方針に基づき、産業団地の分譲可能区画が少なくなってきたことに対応するため、新たな産業団地の整備に向けた取組みを進めていくと同時に、市有産業団地に立地する企業所有の未利用地を取得します。また、情報関連産業に対する優遇制度を拡充し、オフィスビル等への都市型産業の集積を図るなど、企業誘致の新たな受け皿づくりを進めます。さらに、市外からの本社機能等の移転・拡充に対する優遇制度を創設します。</p>   <p style="text-align: right;">山口テクノパーク</p>	<p>計 116,395 千円</p>
<p><b>充 就職支援事業</b>【ふるさと産業振興課】</p> <p><b>充 雇用対策事業</b>【ふるさと産業振興課】</p> <p>市内高校生を対象とした職業理解のためのセミナーの開催、新規学卒者の市内事業者への就職に向けた交流会・セミナー・インターンシップを実施します。また、新たに、市内事業者が事業拡大して若者等を雇用する取組に対する支援や、若手社員の職場定着に向けた研修や異業種交流会の開催を実施することで、若者定住を促進します。</p>	<p>21,108 千円</p> <p>1,598 千円</p>
<p><b>経営改善・事業承継支援事業</b>【ふるさと産業振興課】</p> <p>中小企業等における事業承継や後継者育成の課題への対策として、セミナーや研修会を開催します。また、経営者と創業（後継）希望者とのマッチングなどを実施します。</p>	<p>1,880 千円</p>
<p><b>中心市街地活性化事業</b>【ふるさと産業振興課】</p> <p>タウンマネージャー等を中心に、中心商店街のにぎわい創出に向けた空き店舗への出店サポート、各種イベントや事業のコーディネートを行います。また、民間遊休不動産の有効活用を目指した事業推進組織や勉強会の開催などへの支援を実施します。</p>	<p>17,970 千円</p>
<p><b>あきないのまち支援事業</b>【ふるさと産業振興課】</p> <p>中心商店街の空き店舗へ新規出店する事業者に対して、出店経費の一部を支援します。出店者が 35 歳未満の若者、又は女性の場合は、補助上限額を引き上げます。例えば、飲食店出店の場合は、補助上限金額 150 万円を、若者等の場合は 180 万円とします。</p>	<p>15,000 千円</p>
<p><b>湯田温泉回遊促進事業</b>【ふるさと産業振興課】</p> <p>湯田温泉が有する飲食機能や保養機能の広域的な拠点性を更に高め、回遊や賑わいを創出するため、出店時の店舗改装等に係る費用の一部を支援します。平成 28 年度は、対象エリアを「狐の足あと」周辺地域から、湯田温泉ゾーン全体（約 60ha）へと拡大します。出店者が 35 歳未満の若者、又は女性の場合は、補助上限額を引き上げます。（150 万円→180 万円）。</p>	<p>5,600 千円</p>
<p><b>充 新規就農者支援事業</b>【農林政策課】</p> <p>新規就農者への住宅手当助成制度として、新たに月額 3 万円を上限に市が支援します。また、新規就農に向けた研修費や新規就業者を雇用した法人への支援、機械や施設整備の初期経費を支援します。</p>	<p>63,025 千円</p>
<p><b>充 園芸作物振興事業</b>【農林政策課】</p> <p>若者の農村定住の受け皿づくりとして、市内における大規模ないちごハウス団地（約 5.4ha・ハウス 200 棟）を整備し、若者を担い手として受け入れる取組を支援します。また、青果市場や道の駅などへの出荷増につながるように、少量多品目栽培用ハウスの建設資材費の一部を支援します。</p>	<p>170,294 千円</p>
<p><b>日本型フォレスター等育成支援事業</b>【農林政策課】</p> <p>「緑の雇用」制度対象の新規就業者に対して、月額 3 万円を上限に市が支援します。また、新規就業者に対する指導にかかる経費を支援します。</p>	<p>2,149 千円</p>
<p><b>充 新規漁業就業者支援事業</b>【水産港湾課】</p> <p>漁業研修期間中の住宅手当助成制度として、月額 3 万円を上限に市が支援します。また、漁業研修期間中の研修支援費、漁船や漁具等の初期経費の支援について継続実施します。</p>	<p>4,928 千円</p>

### 3 定住と交流を促進する都市機能の集積、日常生活機能確立と、都市と農山漁村が共生する

## 「都市・生活空間 創生」 ～広域県央中核都市づくり・協働によるまちづくり～

広域県央中核都市づくりとしての高次都市機能の集積と都市圏形成、協働によるまちづくりとしての日常生活機能の確立と日常生活圏の形成を図り、本市全体や各地域において、人材や才能をひきつけ、新たな定住や雇用を創出する快適な都市空間と生活空間を形成します。また、本市や県中部エリアの各地域がつながり合えるネットワーク機能の強化を図り、「コンパクト+ネットワーク」の形成を進めます。中心的な拠点と各地域がそれぞれの特性を生かし、若者をはじめとした東京圏から地方への定住の受け皿づくりとしての都市・生活空間の基盤整備等を進めます。

### (1) 高次都市機能が集積する「広域県央中核都市づくり」

#### ① 山口都市核づくり

##### ・中心市街地の活性化

事業名等	事業費
<b>中心市街地核づくり推進事業</b> 【中心市街地活性化推進室】 市内初の市街地再開発事業となる黄金町地区第一種市街地再開発事業（商業施設、公益施設、駐車場、共同住宅等の整備。平成 31 年度完成予定）について、都市再開発法に基づく支援を引き続き実施します。また、米屋町東地区における民間主導による共同施設整備（商業施設及び共同住宅等）に対して、優良建築物等整備事業による支援を行います。	241,350 千円
<b>新 中心市街地住環境総合整備事業</b> 【中心市街地活性化推進室】 密集市街地における居住環境の整備等に向けた取組として、地元関係者による協議を本格化しています。平成 28 年度以降は、優先度が高く、地権者の合意が得られたエリアから順次、住宅市街地総合整備事業に着手します。	67,060 千円
<b>中心市街地活性化事業</b> 【ふるさと産業振興課】 <再掲>	17,970 千円
<b>あきないのまち支援事業</b> 【ふるさと産業振興課】 <再掲>	15,000 千円
<b>バリアフリー基本構想推進事業</b> 【都市計画課】 新たなバリアフリー化重点整備地区として、山口駅周辺における特定事業計画を策定します。	3,735 千円



黄金町地区第一種市街地再開発事業のイメージ



・湯田温泉おもてなしの街づくり

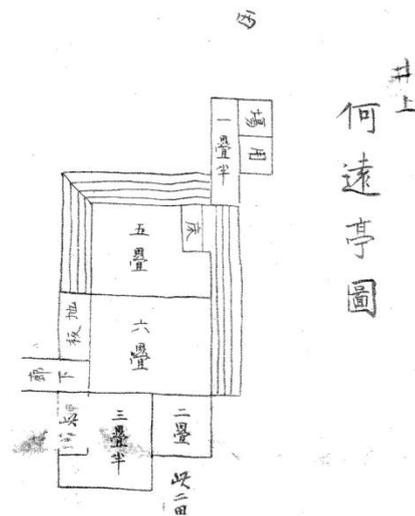
事業名等	事業費
<b>湯田温泉まちなか整備事業</b> 【都市整備課】 湯田温泉エリアの公共空間を、県内の観光・保養拠点にふさわしい都市・生活空間として、都市再生整備計画に基づく第2期事業（平成27～31年度）として整備を進めます。平成28年度は、井上公園周辺における湯田温泉二丁目泉町線の道路美装化を進めます。	63,000 千円
<b>湯田温泉魅力創造事業</b> 【観光交流課】 <b>補正</b> 5,000 千円 <再掲>	計 8,550 千円
<b>湯田温泉回遊促進事業</b> 【ふるさと産業振興課】 <再掲>	5,600 千円



平成 27 年 3 月 湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」開館  
 平成 27 年 10 月 来館者数 10 万人を達成



第 3 回湯田温泉酒まつりの様子



何遠亭を含む井上公園の整備

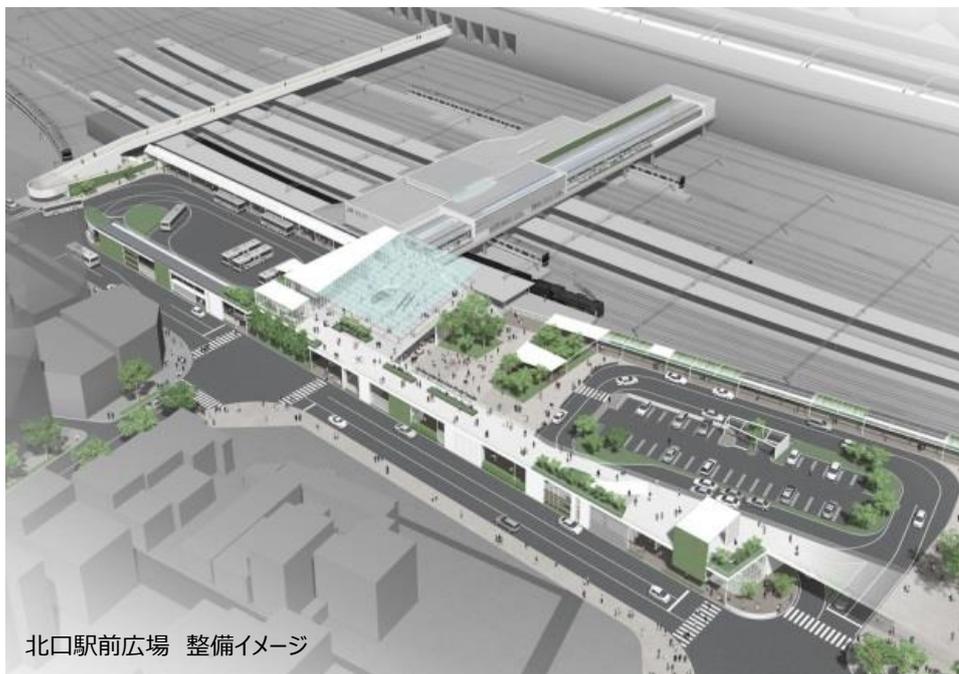
## ② 小郡都市核づくり

事業名等	事業費
<b>新山口駅ターミナルパーク整備事業</b> 【新山口駅ターミナルパーク整備課】 平成 27 年 10 月に供用開始した橋上駅舎・自由通路の整備に続き、北口・南口の両駅前広場や周辺道路整備等の基盤整備を進めます。平成 28 年度は、北口駅前広場のバスシェルターやビジターセンターの整備、南口駅前広場内の歩道部分の工事、既存自由通路の改良工事、駅前通りの工事等を実施します。同時に、山口宇部道路と新山口駅北口駅前広場を結ぶアクセス道路について、県において用地取得や一部工事を実施されます。 なお、北口駅前広場は平成 29 年度の供用開始予定、南口駅前広場は平成 31 年度の供用開始予定です。	2,357,000 千円
<b>新山口駅北地区重点エリア整備事業</b> 【新山口駅拠点施設整備推進室など】 新山口駅北側の大規模遊休地を中心とする重点エリアにおいて、新たな市街地形成を促す取組を進めます。平成 28 年度は、拠点施設の整備にかかる設計等を実施します。また、エリア内における道路整備、市街地再開発の支援などを進めます。	405,000 千円
<b>充</b> <b>小郡浸水対策事業</b> 【下水道整備課】<企業会計> 小郡下郷地区における長通り雨水幹線等の整備を進めます。	319,100 千円
<b>充</b> <b>小郡管渠整備事業</b> 【下水道整備課】<企業会計> 小郡処理区のうち、雨水と汚水をひとつの管路で排水し処理する合流区域の合流管、及び長谷ポンプ場の改築・更新を計画的に進めます。	2,043,099 千円



平成 27 年 10 月供用開始 南北自由通路

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	1期		第2期			
南北自由通路(供用開始)	→					
橋上駅舎(供用開始)	→					
北口駅前広場	→					
南口(新幹線口)駅前広場	→					
既存自由通路	→					
市道矢足新山口駅線	→					



北口駅前広場 整備イメージ

### ③ネットワーク機能の強化

事業名等	事業費
<b>幹線道路関連整備事業</b> 【道路河川建設課】 中国縦貫自動車道の湯田パーキングエリアにおけるスマートインターチェンジの整備に向けて、平成28年度は、用地測量等を進めます。	191,200 千円
<b>新山口駅北口へのアクセス道路整備</b> （県事業負担金）【新山口駅ターミナルパーク整備課】 県道山口宇部線の長谷ランプと新山口駅北口を結ぶアクセス道路の整備が平成25年度から実施されています。県全体の玄関である新山口駅へのアクセス機能の向上に向けて、引き続き、県と連携して整備を促進します。	—
<b>東山通り下矢原線街路整備事業</b> 【都市整備課】 都市計画道路東山通り下矢原線について、矢原町から都市計画道路泉町平川線までの未整備区間を整備し、住民の利便性や安全性の向上、近隣一帯の交通混雑の緩和を図ります（全体計画 L（距離）＝409m W（幅員）＝16m）。平成28年度に工事が完了します。	84,000 千円
<b>湯田温泉周辺地区整備事業</b> 【都市整備課】 湯田温泉周辺地区（若宮町計画エリア）の市道の整備・拡幅、生活道路の整備・拡幅を行い、利便性の高い道路を整備や、行き止まり道路の解消を進めます。平成28年度は、若宮町今井町線の道路改築を進めます。	133,000 千円
<b>充</b> <b>街路改築調査事業</b> 【都市整備課】 都市計画道路の新たな整備促進に向けての効果分析を行います。	9,490 千円



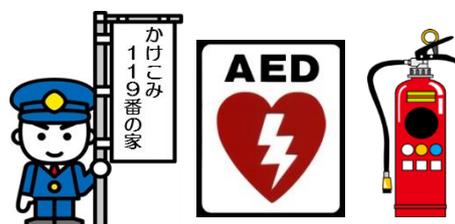
湯田パーキングエリアにおけるスマートインターチェンジの整備イメージ

## (2) 日常生活圏を形成する「協働によるまちづくり」

### ① 日常生活機能の確立

事業名等	事業費
<b>新</b> 持続可能な日常生活圏調査事業【協働推進課】 人口減少が進む農山漁村地域を中心に、協働によるまちづくりのもとで、住民の日常生活が維持できる日常生活機能や地域のあり方を検証します。あわせて、日常生活機能の確立に向けて、必要な担い手育成やコミュニティビジネス等の展開についても研究します。	3,441 千円
<b>地域交流センターの建替整備・改修等</b> 【協働推進課】 宮野地域交流センター建設事業 (建設工事等、平成 28 年度供用開始) 237,800 千円 二島地域交流センター建設事業 (造成工事等、平成 29 年度供用開始予定) 124,600 千円 小郡地域交流センター建設事業 (建設設計等、平成 30 年度供用開始予定) 32,000 千円 佐山地域交流センター建設事業 (建設設計等、平成 30 年度供用開始予定) 32,000 千円 鋳銭司地域交流センター建設事業 (用地測量等、平成 32 年度供用開始予定) 39,000 千円 <b>新</b> 小鯖地域交流センター駐車場整備事業 (整備工事等) 35,000 千円	計 500,400 千円
<b>健康福祉の拠点づくり事業</b> 【健康増進課】 阿東保健センターに隣接する旧阿東山村開発センター (旧阿東地域交流センター) の跡地 (平成 29 年度解体予定) を活用し、障がい者の地域活動支援センター「山口市アカシア工房」の移転をはじめ、子育て支援、健康づくりの機能などの強化と集約を図ります。平成 28 年度は造成設計、建物設計等を実施します (平成 31 年度供用開始予定)。	31,075 千円
<b>充</b> 地域の個性を活かす交付金事業【協働推進課】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>地域づくり交付金</b>                地域振興、地域福祉、安心安全などの各分野において、市内 2 1 の地域が主体的に使い道を決定できる地域づくり交付金を交付します。平成 28 年度は、徳地、阿東地域の分館エリアにおける人件費を加算し、地域活動や日常生活を支える機能を強化します。</li> <li>・ <b>自治会等自治振興交付金</b>                自治会等の地域振興や情報発信等の自主的、持続的な活動を促進します。</li> </ul>	387,558 千円 (269,600 千円)  (116,930 千円)
<b>充</b> 若者学びの広場開催事業【社会教育課】 地域の活力を生み出す若者が、若者世代同士や地域で活動している人とのつながりを深める場づくりとなる社会教育活動を、各地域交流センターを中心に展開します。	1,500 千円
<b>地域防災活動促進事業</b> 【防災危機管理課】 住民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、防災リーダーの養成や、総合支所・地域交流センターと地域が連携した地域防災活動の促進に努めます。	6,760 千円
<b>充</b> 空き家利活用事業【 <b>新</b> 定住促進課】 <再掲>	9,874 千円
<b>充</b> 外部人材活用事業【 <b>新</b> 定住促進課】 <再掲>	80,000 千円
<b>充</b> やまぐち定住実現プロモーション事業【 <b>新</b> 定住促進課】 <再掲>	6,000 千円

<b>新</b> U J I ターン就労支援事業【 <b>定住促進課</b> 】 <再掲>	3,170 千円
<b>新</b> おいでませ農の担い手確保事業【 <b>農林政策課</b> 】 <再掲>	800 千円
<b>充</b> 救急業務推進事業【 <b>救急救助課</b> 】 消防隊や救急隊の現場到着時間を要する徳地・阿東などの中山間地域において、「駆け込み 119 番の家」を創設します。地域団体や店舗等に、A E D や消火器を配備し、通報・初期消火・応急手当などの初期対応、住宅用火災警報器の設置普及啓発、消防団員募集等の相談窓口機能などにおいて協力体制を構築します。	10,657 千円
<b>へき地診療事業</b> 【 <b>健康増進課</b> 】 へき地における医療の確保として、柚野及び串診療所における週 1 回の診療を実施します。	8,105 千円
<b>過疎地域等の集落（分館エリア）への図書配送サービス</b> 【 <b>中央図書館など</b> 】 徳地、阿東地域の分館エリアにおける図書館図書の配送サービスを拡充します。地域等との連携が図られたエリアから順次実施します。	—
<b>暮らしの潤い確保対策事業</b> 【 <b>定住促進課</b> 】 コミュニティや集落の維持を目指す地域の様々な取組を支援します。平成 28 年度は、女性グループ等による生きがい創出や地域資源活用など、女性活躍の取組を支援します。	1,000 千円
<b>充</b> 持続可能な公共交通の構築【 <b>交通政策課</b> 】 持続可能な公共交通の構築を引き続き図る中で、平成 28 年度はグループタクシー利用における最寄りの公共交通機関までの距離要件を一部緩和します。  幹線バス確保維持事業                    160,727 千円 コミュニティバス実証運行事業        44,800 千円 コミュニティタクシー実証運行事業    5,000 千円 コミュニティタクシー運行促進事業    40,000 千円 グループタクシー利用促進事業        8,006 千円 徳地生活バス運行事業                    39,100 千円 阿東生活バス運行事業                    31,620 千円 地域通学バス運行事業                    16,269 千円	計 345,522 千円
<b>簡易水道施設の更新整備</b>  <b>充</b> 生雲簡易水道施設整備事業【 <b>阿東簡易水道事務所</b> 】 <特別会計> 昭和 34 年に整備した生雲簡易水道について、老朽化した水道施設の全面的な更新整備を進めます。工事期間は平成 28 年度～平成 30 年度、総事業費は約 5.5 億円を予定しています。  <b>充</b> 嘉年・吉部野簡易水道事業再編事業【 <b>阿東簡易水道事務所</b> 】 <特別会計> 嘉年・吉部野の 2 箇所の簡易水道を統合し、連絡送水管の接続整備、老朽化した浄水場等の更新整備を進めます。工事期間は平成 28 年度～平成 31 年度、総事業費は約 11.8 億円を予定しています。	445,400 千円  98,500 千円



## ② 農山漁村と都市の交流促進、都市部の需要の受け皿づくり

新	やまぐち瀬戸内魅力創出事業【定住促進課】	補正 5,000 千円 <再掲>	計 10,000 千円
充	中山間地域資源利活用事業【定住促進課】	3,000 千円	
中山間地域における地域資源の利活用を促進し、交流を創出します。徳地和紙を中心とした伝統文化の継承と振興のほか、4 件程度を公募して支援（1 件あたり 50 万円上限、補助率 2/3）します。			
充	道の駅の機能向上【農林政策課】	計 67,500 千円	
道の駅「きらら あじす」…物品販売施設の機能向上（工事） 道の駅「長門峡」…物品販売施設の機能向上（地元協議、設計等）			
充	やまぐちサッカー交流広場整備事業【スポーツ交流課】 <再掲>		80,000 千円
名田島南蛮樋保存整備事業【文化財保護課】			7,927 千円
整備基本計画に基づく名田島新開作南蛮樋保存整備を進めます。平成 28 年度は基本設計を実施します。			
新	鑄銭司・陶地区文化財総合調査事業【文化財保護課】		2,662 千円
山口大学・山口学研究センター（平成 27 年 12 月設置）をはじめとした関係者と連携して、鑄銭司・陶地区の文化財を総合調査し、地域づくりや交流につなげます。			
鑄銭司郷土館管理運営業務【文化財保護課】			27,709 千円
大村益次郎や、国指定遺跡「周防鑄銭司跡」の関連展示等に取り組みます。平成 28 年度は周防鑄銭司発掘 50 周年を記念した講演、ワークショップ等を実施します。			
食の交流促進事業【農林政策課】			2,500 千円
農林産品を中心とした「食」をテーマに、マッチングイベント（生産者と食品関連事業者）に取り組みます。			
常徳寺庭園保存整備事業【文化財保護課】			6,787 千円
国指定名勝「常徳寺庭園」の保存整備として、平成 28 年度は実施設計等を実施します。			



道の駅「長門峡」(阿東)などの機能強化



食の交流「おいでマルシェーの坂」の様子

## ■ 市民生活「四つの安心」

### 1 安心して 働ける 産業力の豊かなまちづくり

#### ・ 消費喚起

事業名等	事業費
<b>販売額面総額 11 億円のプレミアム商品券発行</b> 〔ふるさと産業振興課〕 市内における消費を喚起するため、商工団体によるプレミアム付商品券の発行を支援します。市内小売店や飲食店などで利用できる商品券 1,000 円券 11 枚セットを 1 万円で販売（プレミアム率は 10%）します。販売額面総額は 11 億円を予定しています。中小規模店における利用拡大を図るため、商品券 11 枚セットのうち一定枚数を中小規模店での利用に限定します。	130,000 千円
<b>安心快適住まいる助成事業</b> 〔ふるさと産業振興課〕 市民が安心して快適に長く住み続けられる良質な住宅環境づくりと、リフォームを契機とした更なる市内消費喚起を促進するため、改修費の一部を商品券として補助します（子育て世帯は補助上限額引上）。また、転入等も対象とするなど、市内定住を促進します。市内施工事業者を利用した市民の住宅リフォーム工事（自己居住）費用の一部を、商工団体が発行する商品券により対象工事金額の 10%（助成金額上限 20 万円）を助成します。子育て世帯（同居の 18 歳以下の子を養育する世帯）は 20%を助成（助成金額上限 40 万円）します。	104,000 千円
<b>新 高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業</b> 〔社会課〕 平成 27 年度簡素な給付措置（臨時福祉給付金）の対象者のうち、平成 28 年度中に 65 歳以上となる方を対象に、1 人につき 3 万円の給付金を支給します（全額国庫補助）。	684,868 千円
<b>充 臨時福祉給付金（簡素な給付措置）給付事業</b> 〔社会課〕 平成 26 年 4 月の消費税引き上げ（5%→8%）による影響緩和を図るため、市・県民税（均等割）が課税されていない方に、臨時福祉給付金を支給します。平成 28 年度は、対象者 1 人につき 3 万円の支給を行うとともに、対象者のうち障害基礎年金又は遺族基礎年金を受給している方（高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給対象者に該当する方を除く。）に対して、1 人につき 3 万円を支給します（全額国庫補助）。	232,070 千円

#### ○ 販売額面総額 11 億円のプレミアム商品券発行



- ・プレミアム率は 10%
- ・販売額面総額は 11 億円(予定)
- ・一定枚数を中小規模店での利用に限定

#### ○ 市民の住宅リフォーム工事費用の一部を商品券で補助



- ・良質な住宅環境づくり
- ・市内の建築事業者等による施工
- ・リフォームをきっかけとした市内の個人消費喚起
- ・子育て世代の支援

・中小企業の振興

事業名等	事業費
<b>新</b> 若者U J Iターン就職促進事業【ふるさと産業振興課】<再掲>	7,800 千円
<b>充</b> 就職支援事業【ふるさと産業振興課】<再掲>	21,108 千円
<b>充</b> 雇用対策事業【ふるさと産業振興課】<再掲>	1,598 千円
<b>新</b> 情報産業人材育成強化事業【創生推進課】 <b>補正</b> 10,000 千円 <再掲>	計 10,000 千円
<b>充</b> 新事業創出チャレンジ事業【ふるさと産業振興課】 市内企業に対して、産学連携による新製品やサービス開発等に係る経費への支援、中小企業者の自社製品やサービスの販路開拓等に係る経費への支援、成長企業の育成、ビジネスマッチングを実施します。また、中小企業の海外展開を支援します。	12,452 千円
<b>経営改善・事業承継支援事業</b> 【ふるさと産業振興課】<再掲>	1,880 千円
<b>産学金官連携推進事業</b> 【ふるさと産業振興課】 起業支援制度の周知広報、創業後のフォローアップセミナーの開催また、関係機関との連携等を進めます。	1,000 千円
<b>中心市街地活性化事業</b> 【ふるさと産業振興課】<再掲>	17,970 千円
<b>あきないのまち支援事業</b> 【ふるさと産業振興課】<再掲>	15,000 千円
<b>湯田温泉回遊促進事業</b> 【ふるさと産業振興課】<再掲>	5,600 千円
<b>中小企業等金融対策事業</b> 【ふるさと産業振興課】 中小企業の経営安定化を図るため、市内の金融機関を通じて、事業者に必要な資金を低利で貸し出します。中小企業事業資金、中小企業経営環境改善対策資金では、信用保証料を全額補助し、事業者の負担を軽減します。	901,416 千円
<b>新</b> ふるさと産品営業推進事業【ふるさと産業振興課】<再掲>	240,174 千円

・農林水産業の経営基盤の強化と担い手の育成

事業名等	事業費
<p><b>新</b> <b>もうかる農業創生事業</b>【農林政策課】</p> <p>儲かる農業を目指す農業経営者や経営体を支援するため、経営アドバイザーの派遣、研修会の開催、市場ニーズ調査などを実施します。また、施肥や土壌管理などの農業生産工程を I C T 機器で管理することによる経営コスト削減の取組を支援します。さらに、一の坂川交通交流広場等における「街角マルシェ」の開催を支援し、消費者とのつながり創出や P R ・情報発信を促進します。</p>	6,300 千円
<p><b>充</b> <b>集落営農促進事業</b>【農林政策課】</p> <p>新規就業者の受け入れ・定着を促進するため、集落営農法人等が行う生産規模拡大を支援します。新たに、集落営農法人や J A 等による新規就業者用住宅の確保を支援する制度を新設し、空き家等の施設改修経費の一部を支援（県 1/3・市 1/3）します。</p>	75,875 千円
<p><b>新</b> <b>おいでませ農の担い手確保事業</b>【農林政策課】 &lt;再掲&gt;</p>	800 千円
<p><b>充</b> <b>新規就農者支援事業</b>【農林政策課】 &lt;再掲&gt;</p>	63,025 千円
<p><b>充</b> <b>農地集積・集約化活動事業</b>【農林政策課】</p> <p>農地中間管理機構に 1 0 年以上農地を貸し付け、経営転換または離農する者及び農地集積に協力する地域を支援します。また、新たに借受希望者が少ない地域における農地の受け手農家に対して支援します。</p>	37,346 千円
<p><b>充</b> <b>園芸作物振興事業</b>【農林政策課】 &lt;再掲&gt;</p>	170,294 千円
<p><b>畜産農家支援事業</b>【農林政策課】</p> <p>畜産業の経営基盤強化に向けて、収益力強化に必要な施設整備等を支援します（全額県費）。また、阿東地域の黒毛和種（あとう和牛）の繁殖から肥育までの地域内一貫体制の確立を図るため、地域内からの素牛導入費用等の一部を支援します。</p>	43,789 千円
<p><b>充</b> <b>生薬の郷づくり推進事業</b>【農林政策課】</p> <p>養命酒製造株式会社、とくぢ健康茶企業組合、行政が共同して、クロモジ（生薬名「烏樟（うしょう）」）の産地化に向けた取組を継続します。また、平成 28 年度からは、新たに生薬メーカーと連携して、甘草（カンゾウ）の産地化に向けた取組を開始します。</p>	3,000 千円
<p><b>充</b> <b>道の駅の機能向上</b>【農林政策課】 &lt;再掲&gt;</p>	計 67,500 千円
<p><b>6 次産業化推進事業</b>【農林政策課】</p> <p>加工品開発、加工施設整備、農商工連携販売促進や施設整備などにかかる経費の一部を支援します。</p>	3,710 千円
<p><b>充</b> <b>有害鳥獣捕獲促進事業</b>【農林政策課】</p> <p>農作物被害防止、市街地での市民の安全確保、特定外来生物の駆除など多岐にわたる有害鳥獣対策を一元化し、迅速な対応を図ると同時に、新たに、資格を有する猟友会等の団体と市職員による鳥獣被害対策実施隊を編成します。</p>	20,603 千円
<p><b>新</b> <b>嘉川・佐山地区ほ場整備調査事業</b>【農林整備課】</p> <p>嘉川・佐山地区の約 183ha のほ場整備に向けて、平成 28 年度は地形図作成、農用地等集団化を進めます。【参考】平成 28 年度において、秋穂黒瀧地区は工事着手、鑄銭司地区は換地計画原案作成に向けた協議、徳地島地地区は土地改良区の設立、二島東地区は暗渠排水工事等を進めます。</p>	24,000 千円
<p><b>団体営土地改良補助事業</b>【農林整備課】</p>	67,305 千円
<p><b>新</b> <b>朝早堰改修事業</b>【農林整備課】</p> <p>団体営土地改良事業に対する市負担分を補助金として事業主体に交付します。平成 28 年度は、朝早堰（阿東）の改修、北原池（秋穂）の改修などを実施します。</p>	31,678 千円

新	<b>木質バイオマス活用推進事業</b> 【農林政策課】 市内木質バイオマス利活用施設等に、安定的に木質バイオマスが供給できるように森林施業の効率化を支援します。平成 28 年度は、森林資源量の調査と計画策定、森林組合の高性能林業機械の導入に対する補助等を実施します。	7,000 千円
新	<b>願成就温泉センター施設改修事業</b> 【観光交流課】 願成就温泉センター（阿東）について、改修工事を実施します。あわせて、改修後の施設の主たる熱源等について木質バイオマス等の活用を検討します。平成 28 年度は設計を実施します。	12,000 千円
充	<b>山口市内産木材利用促進事業</b> 【農林政策課】 従前は、木造構造のみが対象でしたが、新たに木質化（リフォーム等）も対象とすることで、優良材（無節材等）の需要を喚起します。優良材の使用量を増加させることで、素材生産量全体を増加させ、木質バイオマス資源の安定的な供給につなげます。	10,000 千円
	<b>造林等補助事業</b> 【農林政策課】	18,000 千円
	<b>森林境界明確化促進事業</b> 【農林政策課】 国・県の造林等補助事業に本市の補助を上乗せすることにより、私有林の整備を促進します。また森林の所在や所有者情報を整理することで、森林境界の明確化（平成 28 年度は徳地八坂 800ha）に取り組みます。	8,264 千円
	<b>日本型フォレスター等育成支援事業</b> 【農林政策課】＜再掲＞	2,149 千円
	<b>漁港施設機能保全事業</b> 【水産港湾課】 既存漁港施設の長寿命化を図るため、各漁港の機能保全計画を策定し、計画的に漁港施設の保全工事（補助・単独）を実施します。平成 28 年度は秋穂漁港（大海地区・浦地区）の機能保全工事等、また、秋穂漁港と山口漁港の次期漁港漁場整備計画の策定を進めます。	82,000 千円
充	<b>水産物供給基盤整備事業</b> 【水産港湾課】 大海地区（秋穂）における加工所機能を有する水産物直売所の整備費用の一部を支援します。また、新たな特産品づくりを目指したモズガニの陸上養殖と安定供給の取組の継続に加えて、平成 28 年度は料理レシピ募集や商品開発、PR に取り組みます。	9,965 千円
充	<b>新規漁業就業者支援事業</b> 【水産港湾課】＜再掲＞	4,928 千円

## 2 安心して 子育てや教育ができるまちづくり

事業名等	事業費
<p><b>新</b> <b>妊娠・出産包括支援事業</b>【健康増進課】</p> <p>新たに「子育て世代包括支援センター」を山口市保健センター内に設置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の構築、ワンストップの拠点づくりを進めます。要支援ケースにおける早期の関係者のネットワーク化、産後ママの心身の健康をサポートするためのデイサービス型の支援、妊産婦の訪問支援の強化などを進めます。</p>	11,663 千円
<p><b>子育て福祉総合センター管理運営事業</b>【こども家庭課】</p> <p>上記の子育て世代包括支援センターと連携し、本市の子育て支援機能の向上を図ります。研修メニューの構築、保育関係者の連携の場づくり、子育て家庭への情報提供・広報・相談などを実施します。</p>	9,571 千円
<p><b>充</b> <b>こども医療費助成事業</b>【保険年金課】</p> <p>父母の市区町村民税所得割（平成 22 年度税制改正前の年少扶養控除・特定扶養控除を加味して再計算）が非課税の子どもの医療費に係る自己負担分を無料化する事業について、平成 28 年度は対象を中学 3 年生まで拡大します（現在は小学 1 年～ 6 年生）。</p>	26,179 千円
<p><b>乳幼児医療費助成事業</b>【保険年金課】</p> <p>小学校就学前の乳幼児医療費の自己負担分の無料化（所得制限無し）を継続します。</p>	485,732 千円
<p><b>充</b> <b>放課後児童クラブ整備事業</b>【こども家庭課】</p> <p>平成 27 年度に中規模以上の小学校における第 2 学級の整備が完了しました。今後、待機児童が発生している小学校区については、第 3 学級の設置等、定員拡大に向けた取組を進めます。平成 28 年度は、大内南小学校区「みなみ第 3 学級」（定員 60 名予定）を整備します。</p>	70,630 千円
<p><b>充</b> <b>放課後児童クラブ運営事業</b>【こども家庭課】</p> <p>平成 28 年度は市内 4 5 箇所の放課後児童クラブを運営します。平成 28 年 4 月からは、新たに宮野小学校区「すずみ第 2 学級」（定員 60 名）を開設します。また、夏休み等の長期休業期間中や土曜日の開所時間延長の取組を進めます。さらに、緊急通報装置の更新を 2 2 箇所で行い、児童の安全安心の確保に努めます。</p>	497,540 千円
<p><b>充</b> <b>私立保育園整備費助成事業</b>【こども家庭課】</p> <p>私立認可保育園の施設整備を支援します。平成 28 年度は「（仮称）みのり保育園」の新設（宮野・定員 60 名）、「たんぼ保育園」の増築（小郡・定員 90 名→110 名）を支援します。</p>	189,033 千円
<p><b>充</b> <b>私立保育園運営事業</b>【こども家庭課】</p> <p>私立認可保育園の運営費を支援します。平成 28 年 4 月に「愛児園みやの森保育園」（宮野・定員 60 名）が新たに開園します。また、引き続き、「待機児童解消加速化プラン（平成 29 年度まで）」に基づく保育の受け皿づくりを進めていくために、保育の量的拡充を支える保育士等確保を図ります。保育士等の処遇改善に対する支援（5 万円/人）や、保育士資格に関心がある方や再就職を考えている方を対象とした講座等を実施します。</p>	2,429,452 千円
<p><b>充</b> <b>私立保育園特別保育事業</b>【こども家庭課】</p> <p>私立保育園におけるアレルギー、障がい児保育、延長保育などの対応を支援します。新たに平成 28 年度は、保育士の労力の負担を軽減し、保育士人材の確保を進めるために、地域住民や子育て経験者などの人材を活用する保育所に対して、経費の一部を支援します。</p>	209,993 千円
<p><b>充</b> <b>認定こども園整備費助成事業</b>【こども家庭課】</p> <p>認定こども園保育施設の整備を支援します。平成 28 年度は「野田学園幼稚園」の増築（大殿・定員 39 名増）、「阿知須幼稚園」の増築（阿知須・定員 27 名増）を支援します。</p>	116,160 千円

<p>充</p>	<p><b>地域型保育整備費助成事業</b>【こども家庭課】 地域型保育施設の整備費や賃借料を支援します。</p>	<p>43,800 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>市立保育園管理運営業務</b>【こども家庭課】 緊急の待機児童解消対策として、保育室面積や保育士配置の基準の範囲内において、一時的に現行の定員を弾力化して、園児の受け入れを進めます。平成 28 年度はニーズが高まっている一時保育サービスを、山口保育園において、緊急の対策として実施します。</p>	<p>497,426 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>市立保育園施設整備事業</b>【こども家庭課】 小郡上郷保育園と小郡乳児保育園の統合に向けて、平成 28 年度は小郡上郷保育園の増改築設計を実施します。</p>	<p>64,952 千円</p>
<p></p>	<p><b>小学校施設増改築事業</b>【教育施設管理課】 <b>大内小学校校舎増築事業</b>【教育施設管理課】 児童数の増加に伴う教室不足への対応として、平成 28 年度は大歳小学校（5 教室増）、大内小学校（4 教室増）の校舎増築工事等を実施します。また、3 月に閉校する嘉年小学校（校舎・プール等）、旧島地中学校（校舎・屋内運動場）、旧篠目小学校（プール等）の解体工事を実施します。</p>	<p>224,680 千円 365,923 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>小学校施設長寿命化事業</b>【教育施設管理課】 <b>中学校施設長寿命化事業</b>【教育施設管理課】 市内小中学校施設について、予防保全型の長寿命化工事などを順次進め、児童生徒の安心安全を確保します。平成 28 年度は、校舎長寿命化（佐山小＜工事＞、大殿小＜調査・設計＞）、プール改修（二島小・名田島小・宮野中・平川中・潟上中＜工事＞、大歳小・鑄銭司小・川西中・阿東中＜調査・設計等＞）、トイレ洋式化（生雲小・島地小＜工事＞、小郡南小・阿知須中・秋穂中＜設計＞）、遊具改築、緊急時の機動的な対応を可能とする学校施設内電話の PHS 化などを進めます。</p>	<p>270,700 千円 129,100 千円</p>
<p>新</p>	<p><b>小学校施設安心安全推進事業</b>【教育施設管理課】 <b>中学校施設安心安全推進事業</b>【教育施設管理課】 屋内運動場の避難場所としての機能を高めるために吊り天井の撤去等（良城小・阿知須小・大内中＜設計＞）、多目的トイレ増築（興進小＜工事＞、小郡南小・生雲小＜設計＞）、防虫網戸設置などを進めます。また、非常通報装置の整備（阿知須小・井関小）、遊具の順次改築等を進めます。</p>	<p>51,050 千円 8,000 千円</p>
<p></p>	<p><b>中学校施設増改築事業</b>【教育施設管理課】 <b>教育支援センター管理運営業務</b>【学校教育課】 老朽化したあすなろ第 1 教室（名田島）について、小郡都市核エリア内に移転新築します。平成 28 年度は建設工事を実施します。</p>	<p>71,000 千円 13,034 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>子ども芸術体感事業</b>【学校教育課】＜再掲＞</p>	<p>8,705 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>情報教育環境整備事業</b>【学校教育課】＜再掲＞</p>	<p>207,702 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>学習支援事業</b>【学校教育課】＜再掲＞</p>	<p>147,009 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>コミュニティスクール推進事業</b>【学校教育課】＜再掲＞</p>	<p>6,758 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>地域ぐるみ子育て支援推進事業</b>【社会教育課】＜再掲＞</p>	<p>24,364 千円</p>
<p>充</p>	<p><b>学校図書館整備推進事業（小学校・中学校）</b>【学校教育課】＜再掲＞</p>	<p>51,276 千円</p>

### 3 安心して 安全に暮せるまちづくり

#### ・集中豪雨への対応

事業名等	事業費
<p><b>総合浸水対策事業</b>〔下水道整備課〕</p> <p>「山口市総合浸水対策計画（平成 27 年度～平成 31 年度）」に基づく重点的な浸水対策として、雨水貯留施設の整備、取水ゲートの自動化整備、公共施設における雨水浸透ますの設置、住宅における雨水貯留タンクや雨水浸透ます設置費用への助成、啓発パンフレットの作成などを進めます。また、雨水貯留施設の地中化に伴う上部の土地利用について、若者をはじめ幅広い世代が利用できるパーク機能や子育て支援機能の整備等について検討していきます。</p> <p>＜主要な事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉敷雨水貯留施設設置</li> <li>・大内雨水貯留施設設置</li> <li>・若宮雨水貯留施設設置</li> <li>・白石地区雨水排水路改良 など</li> </ul>	<p>600,000 千円</p>
<p><b>準用河川維持補修事業</b>〔道路河川管理課〕</p> <p><b>下水溝等維持管理業務</b>〔下水道普及課〕</p> <p>準用河川や市管理の雨水調整池について、浚渫を重点的に実施するなど、洪水等の被害を防ぎ、減らすため、機能維持確保を進めます。</p>	<p>72,456 千円</p> <p>6,610 千円</p>
<p><b>河川改修事業</b>〔道路河川建設課〕</p> <p>油川（宮野）、中川（名田島）、大塚川（平川）、仁保地川（宮野）などの河川改修を進めます。</p>	<p>計 196,000 千円</p>
<p><b>単県危険ため池整備事業</b>〔農林整備課〕</p> <p>決壊等による浸水被害を未然に防止するために、危険ため池を改修します。平成 28 年度は、本浴ため池（宮野）、北原池（秋穂）を改修します。</p>	<p>41,000 千円</p>
<p><b>市有林育成事業</b>〔農林政策課〕</p> <p><b>市有林管理事業</b>〔農林政策課〕</p> <p>降雨時の一時的な保水機能など、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるために、市有林の適切な維持管理を行います。</p>	<p>164,475 千円</p> <p>7,058 千円</p>
<p>☐ <b>山口浸水対策事業</b>〔下水道整備課〕＜企業会計＞</p> <p>吉敷地区、大歳地区、宮野地区の雨水幹線を整備するとともに、問田勘坊地区（大内）における浸水対策について、整備方針や内容等について検討を行います。</p>	<p>244,200 千円</p>
<p>☐ <b>小郡浸水対策事業</b>〔下水道整備課〕＜企業会計＞＜再掲＞</p>	<p>319,100 千円</p>
<p>☐ <b>小郡管渠整備事業</b>〔下水道整備課〕＜企業会計＞＜再掲＞</p>	<p>2,043,099 千円</p>



雨水貯留施設の整備イメージ

・ 防災減災の取組

事業名等	事業費
<p><b>デジタル防災行政無線等整備事業</b>【防災危機管理課】</p> <p><b>防災施設等維持管理業務</b>【防災危機管理課】</p> <p>平成 27 年度の山口・小郡地域の同報系無線の第 1 次整備に続き、平成 28 年度は第 2 次整備として、行政内部の非常通信手段となる移動系無線を整備します。また、既存のモーターサイレン設備を計画的に更新します。</p>	<p>367,000 千円</p> <p>63,855 千円</p>
<p><b>新</b> <b>消防用高所監視装置整備事業</b>【通信指令課】</p> <p>新たに禅定寺前山中継局（小郡）に高所監視装置を設置し、南部地域の災害等の監視体制を強化します。同時に、鴻ノ峯中継局（既設）と禅定寺前山中継局（新設）の高所監視装置の映像を、災害対策本部にリアルタイムに送信するシステムを構築し、河川氾濫、高潮、津波等の情報収集体制を強化します。</p>	<p>99,369 千円</p>
<p><b>常備消防自動車整備事業</b>【警防課】</p> <p>複雑化、多様化する救助事案に対応するため、超高压噴霧消火装置や車載型映像送信装置等の新たな機能を搭載した救助工作車を導入します。</p>	<p>206,523 千円</p>
<p><b>充</b> <b>非常備消防施設等維持管理業務</b>【警防課】</p> <p><b>救助業務推進事業</b>【救急救助課】</p> <p>地域防災力の強化、消防団の技術向上等を図るため、山口市消防団小郡訓練場の整備を進めます。訓練場の一角に、瓦礫救助訓練施設を整備します。また、土砂災害等における救助活動が可能な救助資機材搬送車を消防団に配備します。</p>	<p>41,394 千円</p> <p>4,798 千円</p>
<p><b>充</b> <b>救急業務推進事業</b>【救急救助課】 &lt;再掲&gt;</p>	<p>10,657 千円</p>
<p><b>海岸保全施設整備事業</b>【水産港湾課】</p> <p>海岸保全施設整備計画に基づき秋穂漁港海岸（大海地区）について、護岸及び離岸堤等の工事を継続します（平成 33 年度完成予定）。</p>	<p>502,459 千円</p>
<p><b>港湾等管理業務</b>【水産港湾課】</p> <p>秋穂港の防波堤保全工事を実施するなど、港湾施設の適切な維持管理や保全を継続します。</p>	<p>26,801 千円</p>
<p><b>海岸堤防等老朽化対策緊急事業</b>【水産港湾課】</p> <p>青江港海岸における老朽化の著しい堤防・水門の補強・更新を行うことにより、背後地住民の安全確保を図ります。平成 28 年度は測量設計を実施し、平成 29 年度～平成 32 年度に工事を実施します。</p>	<p>20,000 千円</p>
<p><b>充</b> <b>住宅・建築物耐震化促進事業</b>【開発指導課】</p> <p>地震の際に、不特定多数の出入りや避難所としての利用があり得る要緊急安全確認大規模建造物に対して、耐震改修に要する費用の一部を補助します。また、戸建て住宅の耐震診断や耐震改修に要する費用の一部を補助します。さらに、土砂災害特別警戒区域内（通称：レッド区域）における土砂災害対策改修に要する費用の一部を支援します。</p>	<p>152,612 千円</p>
<p><b>橋りょう維持補修事業</b>【道路河川管理課】</p> <p>全ての市道橋りょう等について、5 年に 1 回の頻度で近接目視点検を実施し、長寿命化に向けた効果的な修繕や、架け替え等につなげていきます。</p>	<p>136,161 千円</p>

・ 防犯と交通安全対策

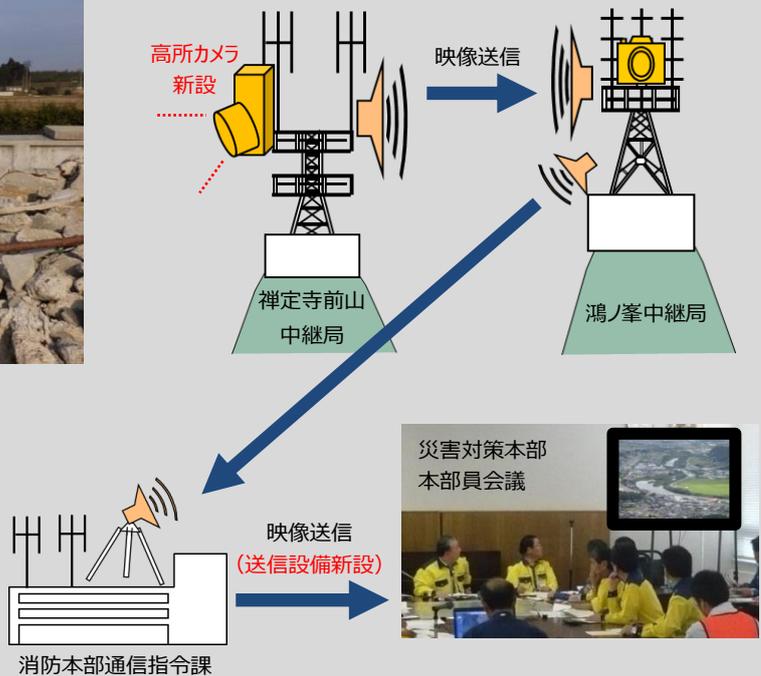
事業名等		事業費
<p><b>充</b> <b>空家等適正管理事業</b>〔生活安全課〕</p> <p>管理不全な空家の防止を図ります。平成 28 年度は、新たに“空家対策室”を設置し、市内全域・全戸の空家の実態調査、空家対策計画の策定、危険な空家の解消に対する支援のほか、適切な維持管理の啓発に努めます。</p>	31,462 千円	
<p><b>充</b> <b>放置自転車対策事業</b>〔生活安全課〕 &lt;一部再掲&gt;</p> <p>山口・湯田温泉・矢原・新山口駅周辺の円滑な通行を維持するため、各駅駐輪場内にある自転車等の定期的な整理や、放置規制区域内にある放置自転車等の撤去を行います。また、新山口駅・大歳駅については、駐輪場の整備に取り組みます。</p>	25,866 千円	
<p><b>充</b> <b>公園リフレッシュ整備事業</b>〔都市整備課〕</p>	80,630 千円	
<p><b>充</b> <b>公園管理事業</b>〔都市整備課〕</p> <p>開設済みの公園を、快適で、安心安全な空間として再整備・維持管理します。平成 28 年度は、上恋路公園（宮野）、御堀公園（大内）、藤尾山公園（佐山）の整備を実施します。また、公園への防犯カメラの設置を順次進める中で、平成 28 年度は香山公園に設置します。</p>	164,208 千円	

前頁「防災減災の取組」



瓦礫救助訓練施設のイメージ

消防用高所監視装置整備のイメージ



## 4 安心して 歳を重ねられる健康長寿のまちづくり

### ・健康寿命の延伸

事業名等	事業費
<b>体力づくり推進事業</b> 【 <small>◎</small> スポーツ交流課】 各種スポーツ教室をはじめ体力づくりの場を提供します。平成 28 年度はチャレンジデーやラジオ体操推進事業等に取り組みます。	1,868 千円
<b>健康福祉の拠点づくり事業</b> 【健康増進課】<再掲>	31,075 千円
<b>保健活動業務</b> 【健康増進課】 市民の健康づくりの意識高揚と活動促進を図るため、地域団体や事業所、健康長寿の方の健康づくりに向けた自主的な取組を表彰する「やまぐち元気いきいき大賞」、県や協力店等と連携した健康マイレージ制度「元気いきいきポイント」などを実施します。また、新型インフルエンザ等の初動体制を整備します。	7,247 千円
<b>食育推進事業</b> 【健康増進課】 山口「食の健康ステーション」など、健康づくりや食育につながるサービス等に取り組む団体や事業者と連携して、情報発信や P R、お料理コンクールの実施や共同商品化等を進め、食を通じた健康づくりに取り組みます。	8,001 千円
<b>予防接種事業</b> 【健康増進課】 定期予防接種を実施し、広報活動を通じて接種の勧奨を行います。	683,320 千円
<b>健康診査事業</b> 【健康増進課】 各種検診の実施と同時に、引き続き、40 歳の方を対象とした全てのがん検診の自己負担金無料化を実施します。	149,584 千円
<b>特定健康診査事業</b> 【保険年金課】<特別会計> メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病対策を実施します。節目年齢の方等を対象に、受診につながるようなインセンティブ（動機付け）を付加した取組を展開します。	112,940 千円
<b>二次病院群輪番制病院運営支援事業</b> 【健康増進課】	42,875 千円
<b>医療施設・設備整備費助成事業</b> 【健康増進課】	21,600 千円
<b>地域救急医療運営費補助事業</b> 【健康増進課】 二次救急医療体制の維持・確保に向けて、二次救急病院による輪番制の運営や設備整備に係る費用を支援します。地域医療に携わる看護師養成など、人材育成にかかる費用を支援します。	77,371 千円



ウォーキングの様子



事業者と連携した食育推進の取組

・地域包括ケアの推進

事業名等	事業費
<p><b>新</b> <b>介護人材育成・確保支援事業</b>【介護保険課】</p> <p>山口市内の介護サービス提供事業者、高校・大学等の福祉分野の教育関係者、行政等の関係者で協議会を設置し、介護人材の確保や定着に向けて、連携を図ります。</p>	1,000 千円
<p><b>新</b> <b>介護予防・生活支援サービス事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p> <p>介護保険法の改正に伴い、介護予防給付のうち訪問介護・通所介護を、介護保険制度の地域支援事業へと移行します。</p> <p>本市では、平成28年10月から、介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、従来の介護予防事業の利用者や新規要支援認定者のうち、新たな訪問介護・通所介護サービスの利用対象となる方に介護予防・生活支援サービスを実施します。要介護状態等となることの予防、要介護状態等の軽減や悪化の防止、地域における自立した日常生活を支援します。</p>	79,971 千円
<p><b>充</b> <b>生活支援・介護予防体制整備事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p> <p>高齢者を支える地域の支えあい体制の構築に向けて、生活支援コーディネーターや協議体を設置し、高齢者自身や地域住民が担い手となる住民主体の活動を支援します。また、NPO や社会福祉法人などによる多様なサービスの提供体制を構築していきます。</p>	12,343 千円
<p><b>地域リハビリテーション活動支援事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p> <p>高齢者の介護予防の機能強化を図るため、基幹型地域包括支援センターにリハビリテーション専門職員を配置し、通所介護・訪問介護、地域ケア会議、住民運営の通いの場等へ派遣し、介護予防の取組を総合的に支援する体制整備を推進します。</p>	10,533 千円
<p><b>地域住民グループ支援事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p>	4,852 千円
<p><b>地域介護予防活動支援事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p> <p>元気なときから切れ目なく、住民が主体的に参加できる介護予防の環境づくりのため、新たに介護予防に取り組む通いの場を設置する住民グループに対する運営の支援や、地域における担い手を養成する事業を実施します。</p>	4,852 千円
<p><b>医療・介護連携推進事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p> <p>在宅医療と介護を一体的に提供できるよう、医療・介護連携の強化を図るため、保健・医療・福祉・介護等の関係者連携のための連絡会議や研修会の開催、調査等を実施します。また、在宅緩和ケアにかかる本人、家族、専門職への相談、支援を行います。</p>	7,189 千円
<p><b>認知症高齢者対策推進事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p>	681 千円
<p><b>認知症ケア総合推進事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p> <p>行方不明者の早期発見に向けて、徘徊等の心配のある方の事前登録や、警察等とのネットワークの強化を図ります。また、認知症サポーター養成事業を強化し、地域の見守りを支援します。</p> <p>また、基幹型地域包括支援センターに設置した認知症初期集中支援チームによる認知機能の低下がみられる方への初期の支援を包括的、集中的に行います。</p>	12,140 千円
<p><b>地域包括支援センター運営事業</b>【高齢福祉課】＜特別会計＞</p> <p>高齢者ができる限り住み慣れた地域で継続して生活できるように、地域包括ケアシステムの推進に向け各地域包括支援センターの機能強化を図ります。</p>	250,615 千円
<p><b>相談支援事業</b>【障がい福祉課】</p> <p>障がい者が地域で安心して生活できる環境をつくるため、障がい者基幹相談支援センターにおいて、相談支援や権利擁護事業（虐待防止、成年後見利用支援）を行い、新たに引きこもりへの対応を行います。</p>	58,718 千円
<p><b>福祉啓発事業</b>【障がい福祉課】</p> <p>障がいや障がい者に対する地域社会の理解を深める広報活動や相談活動に加え、障害者差別解消法の施行に伴い、市民講座や職員を対象にした手話の研修会等を実施します。</p>	2,091 千円

# ■ 市民満足度を高める行政マネジメントの強化

## ・ 次なる10年の挑戦 ～山口市のグランドデザイン～

事業名等	事業費
<b>山口市総合計画策定と本庁舎整備の方向性の検討</b> 〔企画経営課〕 次なる10年の挑戦としての、平成30年度から平成39年度までを計画期間とする「第2次山口市総合計画」の策定業務を進めます。平成28年度は策定協議会の開催、策定に向けた基礎調査等を実施します。 また、山口市本庁舎の整備に関する検討委員会において、本庁舎の整備の方向性を引き続き検討され、平成28年度に答申をいただきます。なお、平成27年度3月補正予算において、庁舎建設基金積立金を10億円計上しており、結果、平成27年度末の同基金残高は約43億円になります。	計3,000千円
<b>～連携中枢都市圏の形成～ 都市連携推進事業</b> 〔企画経営課〕 人口減少・少子高齢化社会においても一定の圏域人口を維持していくことができる都市圏を形成するために、中心的な役割を果たしていく拠点となる都市づくりを進めると同時に、近隣都市との高次都市機能の役割分担や連携のもとで、県中部エリアの人口60万人から70万人の都市圏形成に貢献できる「広域県央中核都市づくり」を進めていきます。平成28年度は、国の連携中枢都市圏構想に基づき、県中部エリアにおける圏域形成に向けて、連携中枢都市宣言、近隣都市との協議会設置や連携協約等を進めていきます。	2,000千円
<b>幹線道路関連整備事業</b> 〔道路河川建設課〕 <再掲>	191,200千円
<b>新山口駅北口へのアクセス道路整備</b> （県事業負担金）【新山口駅ターミナルパーク整備課】 <再掲>	—
<b>都市計画基本調査事業</b> 〔都市計画課〕 居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通との連携に関するマスタープランとしての「立地適正化計画」の策定を進めます。平成28年度は基礎調査・分析を実施します。	23,161千円
<b>地域公共交通網形成計画策定事業</b> 〔交通政策課〕 本市における高次都市機能や生活機能、観光、福祉、教育など、様々なまちづくりの要素を踏まえて、本市において、将来に渡って望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープランを策定します。平成28年度は、基礎調査を実施します。	21,501千円

連携中枢都市圏の概要

**連携中枢都市圏の意義とは**

▶ 地域において、**相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢化社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成**

**連携中枢都市圏に何が求められているのか**

- ① **圏域全体の経済成長のけん引**  
産学官の共同研究・新製品開発支援、六次産業化支援 等
- ② **高次の都市機能の集積・強化**  
高度医療の提供体制の充実、高等教育・研究開発の環境整備 等
- ③ **圏域全体の生活関連機能サービスの向上**  
地域医療確保のための病院群輪番制の充実、地域公共交通ネットワークの形成 等

**国（府省）の重点的な支援措置**

↓

- ・普通交付税措置
- ・特別交付税措置
- ・各種補助金の採択配慮など

**連携中枢都市（圏）の要件該当都市**

<これまで>

- ・全国 **61都市圏** が該当
- ・地方圏の指定都市、新中核市（人口20万以上）
- ・昼夜間人口比率おおむね1以上

+

<平成27年12月追加>

隣接する2つの市（昼夜間人口比率1以上かつ人口10万人程度以上の市）の人口の合計が20万人を超える等が要件該当に追加（国のまち・ひと・しごと創生総合戦略改訂）

山口市作成資料

・快適で、エコな居住空間の実現

事業名等		事業費
新	<p><b>やまぐち水素エコタウン研究事業</b>【環境政策課】</p> <p>本市における将来の水素社会の構築に向けて、利活用のニーズの現状把握、将来において必要となる社会インフラのあり方など、研究を進めます。</p>	1,000 千円
新	<p><b>E Vモビリティ推進事業</b>【環境政策課】</p> <p>国の地域交通のグリーン化を通じた電気自動車の普及促進施策に基づき、本市において、市内の交通事業者と連携したモデル的な導入を促進します。地球温暖化対策に加えて、レノファ山口FCなどの本市の魅力や情報発信につながる事業展開を目指します。</p>	6,240 千円
新	<p><b>ペレットでワークわくわく事業</b>【環境政策課】</p> <p>市内福祉作業所と連携して、県央部初の小規模木質ペレット製造設備の導入を進め、未利用木材の利用促進や、カーボンニュートラルによる二酸化炭素排出量の削減に向けた普及啓発を実施します。</p>	4,050 千円
	<p><b>(仮称) 大浦最終処分場整備事業</b>【環境政策課】</p> <p>次期一般廃棄物最終処分場について、平成 28 年度は、埋立処分施設、被覆施設に引き続き、浸出水処理施設の工事を実施し、年度内に供用開始します。</p>	928,622 千円
	<p><b>環境学習コンテンツ創出事業</b>【環境政策課】</p> <p>清掃工場・中間処理センター・リサイクルプラザ（大内）、（仮称）大浦最終処分場（嘉川）の両エリアを、資源循環や再生可能エネルギーを学べる環境学習の場として位置付け、山口情報芸術センターなどの関係機関と連携した子ども向けワークショップなどを展開します。</p>	1,290 千円
充	<p><b>衛生対策事業</b>【環境衛生課】</p> <p>市民の衛生的な生活環境の維持に努めます。ペットの適正飼養の推進と犬猫の引取頭数減少を目指す中で、「山口市猫の適正飼養等ガイドライン（平成 27 年度策定）」に基づき、飼い猫の屋内飼養などの普及啓発を進めるとともに、平成 28 年度から、飼い主のいない猫に対して行う不妊・去勢手術費用の助成を実施します。また、一定の住宅団地において行われる、100 人槽以上の大型合併処理浄化槽の老朽化等による改築整備に対して補助金を交付します。</p>	93,808 千円
	<p><b>合併処理浄化槽設置助成事業</b>【下水道普及課】</p> <p>水洗化率の向上に向けて、平成 29 年度まで、本市独自の合併処理浄化槽設置補助を、継続して実施します。また、制度の周知・広報を図ります。</p>	117,828 千円
新	<p><b>消化ガス発電事業</b>【下水道施設課】 &lt;企業会計&gt;</p> <p>山口浄化センターにおいて汚泥処理過程で発生する消化ガスを有効活用した発電設備を整備します。設備投資に要する経費を抑制し、適切に効果を上げる事業手法を検討します。</p>	1,500 千円



建設中の（仮称）大浦最終処分場

・行政改革等の推進、公共施設の耐震化・長寿命化など

事業名等	事業費
<b>新</b> <b>新地方公会計推進事業</b> 【財政課】 新たな地方公会計の整備推進に伴い、平成 28 年度に固定資産台帳を作成し、市の資産状況を明確にします。	42,432 千円
<b>行政改革大綱推進事業</b> 【行革推進課】 平成 27 年度に実施した行政診断等に基づき、引き続き、組織や職員体制等について検証し、次期行革大綱の策定（平成 29 年度）を進めます。	2,219 千円
<b>新</b> <b>農業集落排水事業法適用化推進事業</b> 【上下水道総務課】＜特別会計＞	14,800 千円
<b>新</b> <b>漁業集落排水事業法適用化推進事業</b> 【上下水道総務課】＜特別会計＞ 農業集落排水事業及び漁業集落排水事業の会計制度について、企業会計適用の準備作業を進めます。	800 千円
<b>市営住宅建替等調査事業</b> 【建築課】 市営住宅の整備や供給の手法について、既存市営住宅の統合や、民間の賃貸集合住宅の現状調査などを含めて、新たな住宅供給政策のあり方について検討を進めます。	11,500 千円
<b>充</b> <b>清掃工場管理運営業務</b> 【環境施設課】 清掃工場の確実な維持管理を行います。また、清掃工場長寿命化に向けた基幹的設備改良事業（平成 27～31 年度）を進めています。平成 28 年度は基幹的設備改良工事にかかる設計・施工管理業務の委託、送電線埋設更新工事等を実施します。	845,633 千円
<b>公共施設の耐震補強や長寿命化の取組＜再掲あり＞</b>	
<b>庁舎等</b> 山口総合支所（耐震補強工事）、小郡総合支所（E V・トイレ・自動ドア・給水管等改修工事）、秋穂総合支所（空調・トイレ改修工事）、阿東総合支所（木質ペレットボイラー空調設備導入工事）、各地域交流センター（建替・改修工事）	合計
	3,323,626 千円
<b>保健福祉施設</b> 休日・夜間急病診療所＜長寿命化＞ ほか	
<b>文化・社会教育施設</b> 市民会館（大ホールステージ改修工事）、C.S 赤れんが（玄関前通路修繕）、山口南総合センター（屋根・吊り天井改修工事等）、大海総合センター（空調設備改修工事等）、やまぐちフレッシュパーク（外壁改修工事等）、スポーツの森（スコアボード改修設計）、徳地体育館（吊り天井改修工事）、鑄銭司郷土館（空調改修工事等）、徳地文化ホール（調査）、小郡ふれあいセンター（吊り天井改修設計） ほか	
<b>観光・勤労者福祉施設</b> ふるさと伝承総合センター（みやび館改修工事）、勤労者総合福祉センター“サンフレッシュ山口”（耐震改修工事）、働く婦人の家（E V改修工事） ほか	
<b>学校施設</b> 小学校、中学校、幼稚園（長寿命化・増改築等） ほか	
<b>その他の施設</b> 橋りょう、漁港（補修・保全工事）、山口隣保館（改築工事）、陶隣保館（改築設計）、仁保斎場・嘉川斎場（改修工事等）、清掃工場（長寿命化）、清掃事務所（耐震補強）、市営住宅（鯖山、陶笹、下田、宮野下 2、三谷川、堀、三和町改良住宅 長寿命化等） ほか	

## 4 新年度の市民の暮らし

市民満足度や市民生活の質的向上に向けて、各分野において、国や県の施策と連携し、住民二一  
ズにきめ細かく対応していきます。

### ◆子育て支援、教育環境の整備

安心して子どもを産み、育てやすい環境を整えます。

<b>保育施設の定員を90名程度拡充【こども家庭課】</b>
待機児童解消に向け、保育施設の整備を進めています。平成28年4月から新たに愛児園みやのの森保育園（定員60名）、はあと保育園吉敷（定員12名）、（仮称）ブティック保育園（定員18名）が開園し、昨年4月と比較して60名の定員を拡大して保育を実施します。28年度においても、（仮称）みのり保育園の新設（定員60名）、たんぼぼ保育園の増築（定員20名増）や、野田学園幼稚園、阿知須幼稚園の認定こども園への移行による増築（定員66名増）など、保育施設の整備を進め定員の拡大を図ります。
<b>放課後児童クラブの定員の拡充【こども家庭課】</b>
平成28年4月から新たに宮野小学校区「すすみ第2学級」（定員60名）を開設します。28年度は、大規模校等の待機児童解消に対応するため、大内南小学校区「みなみ第3学級」（定員60名（予定））の整備を行うほか、土曜日や長期休業期間中の開所時間延長の取組を進めます。
<b>こども医療費助成事業の対象学年を中学3年生まで拡大【保険年金課】</b>
父母の市区町村民税所得割が非課税の子どもの医療費に係る自己負担の無料化について、平成27年度は小学1年生から6年生までを対象に実施しました。平成28年10月からは対象学年を中学3年生まで拡大します。小学校就学前の乳幼児医療費無料化（所得制限無し）を継続します。
<b>妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援【健康増進課】</b>
新たに「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊産婦の訪問支援や産後ママの心身のケア、育児のサポートなど、妊娠期から子育て期までの専門的な相談・支援体制を構築します。
<b>多子世帯・ひとり親世帯の保育料を軽減【こども家庭課・学校教育課】</b>
年収360万円未満の多子世帯及びひとり親世帯の保育園・幼稚園の保育料の軽減制度を拡充します。多子世帯については、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料を無償化し、ひとり親世帯については、第1子の保育料を半額、第2子の保育料を無償化します。
<b>小・中学校施設の整備【教育施設管理課】</b>
児童生徒の安心安全を確保するため、校舎長寿命化工事やプール、遊具等の改修工事を順次実施します。屋内運動場においては、吊り天井の撤去や多目的トイレの増築等を行い、避難場所としての機能を高めます。

### ◆くらしの安心・安全の確保

災害時・緊急時の被害の軽減や、防犯などの取組を進めます。

<b>集中豪雨などによる浸水被害の軽減【下水道整備課】</b>
集中豪雨などによる浸水被害の軽減を図ることを目的に、住宅への雨水貯留タンクや雨水浸透ますの設置費用を助成します。
<b>中山間地域の救急等の体制を整備【救急救助課】</b>
消防隊や救急隊の現場到着時間を要する徳地・阿東などの中山間地域において、公共施設や事業所などに「駆け込み119番の家」を創設し、通報・初期消火・応急手当などの初期対応等における協力体制を整備します。

## ◆健康長寿の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるように、健康づくりや疾病予防等に積極的に取り組める支援体制の充実等を図ります。

<b>健康づくりの活動を促進【健康増進課】</b>
健康づくりに向けた自主的な取組を実施する地域団体、事業所、個人に対して「やまぐち元気いきいき大賞」の表彰を行います。県や協力店と連携して、健康づくりに取り組む方へ特典やサービスを付与する健康マイレージ制度「元気いきいきポイント」を実施し、市民のみなさんの健康づくりを応援します。
<b>介護予防・生活支援体制の整備【高齢福祉課】</b>
地域で高齢者を支えあう体制づくりに向けて、生活支援コーディネーターなどを設置し、高齢者自身や地域住民が担い手となる住民主体の活動を支援します。平成28年10月から、介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、新たな訪問介護・通所介護サービスの利用対象となる方に介護予防・生活支援サービスを実施します。

## ◆市内消費の喚起

市内における域内消費を喚起します。

<b>プレミアム商品券発行助成事業【ふるさと産業振興課】</b>
商工団体によるプレミアム付商品券の発行を支援します。 (1,000円×11枚を1万円で販売、プレミアム率10%、一定枚数を中小規模店での利用に限定)
<b>安心快適住まいの助成事業【ふるさと産業振興課】</b>
市内の業者が施工する住宅リフォーム工事の一部に対し、商工団体が発行する市内共通商品券により工事金額の10%(助成金上限20万円)を助成します。さらに、子育て世帯(同居の18歳以下の子を養育する世帯)は工事金額の20%(助成金上限40万円)を助成します。
<b>山口市内産木材利用促進事業【農林政策課】</b>
市内産優良材の需要喚起を図るため、市内産木材を使用した住宅建築に対する補助制度において、新たにリフォームなどの木質化を対象として工事費用の一部を助成します。

## ◆生活環境の向上

市民の生活環境を維持する環境づくりを進めます。

<b>持続可能な公共交通の構築【交通政策課】</b>
交通不便地域の高齢者を対象としたグループタクシーの利用において、最寄りの公共交通機関までの距離要件を緩和します。
<b>空家の適正な管理【生活安全課】</b>
市内全域・全戸の空家の実態調査を行い、空家等対策計画を策定します。法律に基づき、近隣に深刻な影響を及ぼす危険な空家の所有者に対する指導・勧告等を行い解決を図るほか、管理不全な空家の防止を図る取組を進めます。
<b>ペットの適正飼養の推進【環境衛生課】</b>
飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に係る費用を負担する地域、団体、個人に対して手術費用を助成します。